2023年度
シラバス（授業内容）

昼間部１年
エアライン科　キャビンアテンダントコース
エアポートサービスコース
エアポートカーゴコース

1.シラバスとは

シラバスは、授業の内容を予め受講者に知らせるもので、到達目標・使用教材・単位数等が記載されています。
当校の教育理念は「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」です。ホスピタリティとはお客様をおもてなしすること、心配り・気配り・思いやりを意味します。相手の立場に立って考え、行動できる人間を育成することを念頭にカリキュラム編成をしています。同時に卒業後、即戦力として活躍できるよう専門分野においても基礎・応用からの実践教育を取り入れたカリキュラムとなっています。

2.科目編成（カリキュラム）の概要

科目編成は、共通科目と専門科目です。
全科目が必修科目となり、卒業にはすべての単位取得が必要です。
（1）共通科目：人間力を高めること、職業人として必要なビジネス教養を身に付ける科目構成です。
（2）専門科目：各科各コースの専門分野に即した科目構成です。

学校法人 中村学園
国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

2023 年度　昼間部 1 年　エアライン科キャビンアテンダントコース

進級・卒業基準単位

		1 年		2 年		卒業
		前期	後期	前期	後期	基準単位
必修	共通必修	7	8	6	6	27
	専門必修	18	26	20	14	78
合　計		25	34	26	20	105

各期全単位を取得すること。

履修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

		1年前期				1年後期				2年前期				2年後期			
		科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数
必修科目	共通科目	ホスピタリティⅠ	演	1	15	ホスピタリティⅡ	演	1	15	卒業研究Ⅰ	講	2	30	卒業研究Ⅱ	講	2	30
		キャリアデザインⅠ	演	2	30	キャリアデザインⅡ	演	5	75	キャリアデザインⅢ	講	1	15				
		ビジネスコミュニケーションⅠ	講・演	1	15					ビジネスコミュニケーションⅡ	講	1	15	ビジネスコミュニケーションⅢ	講	1	15
		就職筆記対策Ⅰ	講	1	15	就職筆記対策Ⅱ	講	1	15	脳力開発Ⅰ	演	1	15	脳力開発Ⅱ	演	1	15
		Let's Speak EnglishⅠ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅡ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅢ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅣ	演	1	15
		パソコン	演	1	15									国際交流	演	1	15
		小計		7	105	小計		8	120	小計		6	90	小計		6	90
	専門科目	English CommunicationⅠ	演	1	30	English CommunicationⅡ	演	1	30	English CommunicationⅢ	演	1	30	English CommunicationⅣ	演	1	30
						Airline EnglishⅠ	演	1	15	Airline EnglishⅡ	演	1	15	Airline EnglishⅢ	演	1	15
		TOEIC Advanced対策Ⅰ	講	4	60	TOEIC Advanced対策Ⅱ	講	4	60	TOEIC Advanced対策Ⅲ	講	3	45	TOEIC Advanced対策Ⅳ	講	1	30
		Ideas&OpinionsⅠ	講/演	1	15	Ideas&OpinionsⅡ	講/演	1	30	国内観光地理Ⅰ	講	1	15	国内観光地理Ⅱ	講	1	15
						パソコンスキルⅠ	演	1	15	パソコンスキルⅡ	演	1	15	パソコンスキルⅢ	演	1	15
		手話講座Ⅰ	演	1	15	手話講座Ⅱ	演	1	15	手話講座Ⅲ	演	1	15	手話講座Ⅳ	講	1	15
		中国語/韓国語Ⅰ	講	1	30	中国語/韓国語Ⅱ	講	1	30	中国語/韓国語Ⅲ	講	1	30	中国語/韓国語Ⅳ	講	1	30
		エアライン概要Ⅰ	講	1	15	エアライン概要Ⅱ	講	1	15	航空機研究	講	1	15				
		業界ガイド	講	1	15	エアライン受験対策Ⅰ	演	1	15	エアライン受験対策Ⅱ	演	1	15				
		CA入門	演	1	15	CA実務Ⅰ	演	1	15	CA実務Ⅱ	講	1	15				
		美育Ⅰ	演	1	15	美育Ⅱ	演	1	15	美育Ⅲ	演	1	15				
		機内サービス実技演習Ⅰ	演	1	15	機内サービス実技演習Ⅱ	演	1	15	観光英検対策Ⅰ	講	1	15	観光英検対策Ⅱ	講	1	15
		メイクアップ講座	演	1	15	English Interview	演	1	15	ワイン入門	講	1	15				
		ワールドデスティネーションズⅠ	講	1	15	ワールドデスティネーションズⅡ	講	1	15	ワールドデスティネーションズⅢ	講	1	30	ワールドデスティネーションズⅣ	講	1	30
		アマデウスⅠ	演	1	15	アマデウスⅡ	演	1	15	電話応対ベーシックⅠ	演	1	15	電話応対ベーシックⅡ	演	1	15
		エクササイズⅠ	演	2	30	エクササイズⅡ	演	2	30	エクササイズⅢ	演	2	30	エクササイズⅣ	演	2	30
						TOEIC Advanced集中講座	講	2	30	危険物取扱講座Ⅰ	講	1	15	危険物取扱講座Ⅱ	講	1	15
						Airport Study	演	2	30					企業実習/ボランティア	実	1	30
						海外語学研修	演	2	30								
		小計		18	300	小計		26	435	小計		20	345	小計		14	285
計		1年前期　計		25	405	1年後期　計		34	555	2年前期　計		26	435	2年後期　計		20	375
		1年　計						59	960	2年　計						46	810
		2年間　合計														105	1770

行事	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
	スタートアップセミナー	スピーチコンテスト	オリエンテーション	中村学園祭
	オリエンテーション	AAセミナー		
	ユニバーサルマナー検定			

2023 年度　昼間部 1 年　エアライン科エアポートサービスコース

進級・卒業基準単位

		1 年		2 年		卒業
		前期	後期	前期	後期	基準単位
必修	共通必修	7	8	6	6	27
	専門必修	17	26	19	16	78
合　計		24	34	25	23	105

各期全単位を取得すること。

履修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

		1年前期				1年後期				2年前期				2年後期			
		科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数
必修科目	共通科目	ホスピタリティⅠ	演	1	15	ホスピタリティⅡ	演	1	15	卒業研究Ⅰ	講	2	30	卒業研究Ⅱ	講	2	30
		キャリアデザインⅠ	演	2	30	キャリアデザインⅡ	演	5	75	キャリアデザインⅢ	講	1	15				
		ビジネスコミュニケーションⅠ	講・演	1	15					ビジネスコミュニケーションⅡ	講	1	15	ビジネスコミュニケーションⅢ	講	1	15
		就職筆記対策Ⅰ	講	1	15	就職筆記対策Ⅱ	講	1	15	脳力開発Ⅰ	演	1	15	脳力開発Ⅱ	演	1	15
		Let's Speak EnglishⅠ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅡ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅢ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅣ	演	1	15
		パソコン	演	1	15									国際交流	演	1	15
		小計		7	105	小計		8	120	小計		6	90	小計		6	90
	専門科目	English CommunicationⅠ	演	1	30	English CommunicationⅡ	演	1	30	English CommunicationⅢ	演	1	30	English CommunicationⅣ	演	1	30
						Airline EnglishⅠ	演	1	15	Airline EnglishⅡ	演	1	15	Airline EnglishⅢ	演	1	15
		TOEIC対策Ⅰ	講	3	45	TOEIC対策Ⅱ	講	3	45	TOEIC対策Ⅲ	講	3	45	TOEIC対策Ⅳ	講	2	30
		Ideas&OpinionsⅠ/英語基礎文法Ⅰ	講	1	15	Ideas&OpinionsⅡ/英語基礎文法Ⅱ	講	2	30	国内観光地理Ⅰ	講	1	15	国内観光地理Ⅱ	講	1	15
						パソコンスキルⅠ	演	1	15	パソコンスキルⅡ	演	1	15	パソコンスキルⅢ	演	1	15
		手話講座Ⅰ	演	1	15	手話講座Ⅱ	演	1	15	手話講座Ⅲ	演	1	15	手話講座Ⅳ	講	1	15
		中国語/韓国語Ⅰ	講	1	30	中国語/韓国語Ⅱ	講	1	30	中国語/韓国語Ⅲ	講	1	30	中国語/韓国語Ⅳ	講	1	30
		エアライン概要Ⅰ	講	1	15	エアライン概要Ⅱ	講	1	15	航空機研究	講	1	15				
		業界ガイド	講	1	15	エアライン受験対策Ⅰ	演	1	15	エアライン受験対策Ⅱ	演	1	15				
		空港旅客サービス入門	演	2	30	空港旅客サービス実務Ⅰ	講	2	30	空港旅客サービス実務Ⅱ	講	1	15				
		カウンター実技演習Ⅰ	演	1	15	カウンター実技演習Ⅱ	演	1	15	観光英検対策Ⅰ	講	1	15	観光英検対策Ⅱ	講	1	15
		メイクアップ講座	演	1	15	英語面接対策	演	1	15	エアカーゴ入門	講	1	15				
		ワールドデスティネーションズⅠ	講	1	15	ワールドデスティネーションズⅡ	講	1	15	ワールドデスティネーションズⅢ	講	1	30	ワールドデスティネーションズⅣ	講	1	30
		アマデウスⅠ	演	1	15	アマデウスⅡ	演	1	15	電話応対ベーシックⅠ	演	1	15	電話応対ベーシックⅡ	演	1	15
		エクササイズⅠ	演	2	30	エクササイズⅡ	演	2	30	エクササイズⅢ	演	2	30	エクササイズⅣ	演	2	30
						TOEIC集中講座	講	2	30	危険物取扱講座Ⅰ	講	1	15	危険物取扱講座Ⅱ	講	1	15
						Airport Study	演	2	30					企業実習/ボランティア	実	2	60
						海外語学研修	演	2	30								
		小計		17	285	小計		26	420	小計		19	330	小計		16	315
計		1年前期　計		24	390	1年後期　計		34	540	2年前期　計		25	420	2年後期　計		22	405
		1年　計						58	930	2年　計						47	825
		2年間　合計														105	1755

行事	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
	スタートアップセミナー	スピーチコンテスト	オリエンテーション	中村学園祭
	オリエンテーション	AAセミナー		
	ユニバーサルマナー検定			

2023年度　昼間部1年　エアライン科エアポートカーゴコース

進級・卒業基準単位

		1年		2年		卒業
		前期	後期	前期	後期	基準単位
必修	共通必修	7	8	6	6	27
	専門必修	16	24	21	17	78
合　計		23	32	27	23	105

各期全単位を取得すること。

履修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

		1年前期				1年後期				2年前期				2年後期			
		科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数
必修科目	共通科目	ホスピタリティⅠ	演	1	15	ホスピタリティⅡ	演	1	15	卒業研究Ⅰ	講	2	30	卒業研究Ⅱ	講	2	30
		キャリアデザインⅠ	演	2	30	キャリアデザインⅡ	演	5	75	キャリアデザインⅢ	講	1	15				
		ビジネスコミュニケーションⅠ	講・演	1	15					ビジネスコミュニケーションⅡ	講	1	15	ビジネスコミュニケーションⅢ	講	1	15
		就職筆記対策Ⅰ	講	1	15	就職筆記対策Ⅱ	講	1	15	脳力開発Ⅰ	演	1	15	脳力開発Ⅱ	演	1	15
		Let's Speak EnglishⅠ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅡ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅢ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅣ	演	1	15
		パソコン	演	1	15									国際交流	演	1	15
		小計		7	105	小計		8	120	小計		6	90	小計		6	90
	専門科目	English CommunicationⅠ	演	1	30	English CommunicationⅡ	演	1	30	English CommunicationⅢ	演	1	30	English CommunicationⅣ	演	1	30
						Airline EnglishⅠ	演	1	15	Airline EnglishⅡ	演	1	15	Airline EnglishⅢ	演	1	15
		TOEIC対策Ⅰ	講	3	45	TOEIC対策Ⅱ	講	3	45	TOEIC対策Ⅲ	講	3	45	TOEIC対策Ⅳ	講	2	30
						エアライン受験対策Ⅰ	演	1	15	エアライン受験対策Ⅱ	演	1	15				
						パソコンスキルⅠ	演	1	15	パソコンスキルⅡ	演	1	15	パソコンスキルⅢ	演	1	15
		手話講座Ⅰ	演	1	15	手話講座Ⅱ	演	1	15	手話講座Ⅲ	演	1	15	手話講座Ⅳ	講	1	15
		中国語/韓国語Ⅰ	講	1	30	中国語/韓国語Ⅱ	講	1	30	中国語/韓国語Ⅲ	講	1	30	中国語/韓国語Ⅳ	講	1	30
		ロジスティクス入門	講	1	15	通関ﾋﾞｼﾞﾈｽ検定対策Ⅰ	講	1	15	通関ﾋﾞｼﾞﾈｽ検定対策Ⅱ	講	1	15				
		ｴｱｶｰｺﾞ入門(貨物の仕組み)	講	2	30	ｴｱｶｰｺﾞ実務Ⅰ(税関/海上)	演	2	30	ｴｱｶｰｺﾞ実務Ⅱ(フォワーダー)	講	2	30				
		業界ガイド	講	1	15	ディプロマ対策ⅠA	講	1	15	ディプロマ対策ⅠB	講	2	30				
		ｶｰｺﾞﾊﾝﾄﾞﾘﾝｸﾞ入門	講	1	15	ディプロマ対策Ⅱ	講	2	30	国内観光地理Ⅰ	講	1	15	国内観光地理Ⅱ	講	1	15
		グランドハンドリング入門	演	1	15	グランドハンドリング実務	演	1	15	航空機研究	講	1	15				
		ワールドデスティネーションズⅠ	講	1	15	ワールドデスティネーションズⅡ	講	1	15	ワールドデスティネーションズⅢ	講	1	30	ワールドデスティネーションズⅣ	講	1	30
		アマデウスⅠ	演	1	15	アマデウスⅡ	演	1	15	電話応対ベーシックⅠ	演	1	15	電話応対ベーシックⅡ	演	1	15
		エクササイズⅠ	演	2	30	エクササイズⅡ	演	2	30	エクササイズⅢ	演	2	30	エクササイズⅣ	演	2	30
										危険物取扱講座Ⅰ	講	1	15	危険物取扱講座Ⅱ	講	1	15
						Airport Study	演	2	30					ディプロマ講習	講	2	30
						海外語学研修	演	2	30					企業実習	実	2	60
		小計		16	270	小計		24	390	小計		21	360	小計		17	330
計		1年前期　計		23	375	1年後期　計		32	510	2年前期　計		27	450	2年後期　計		23	420
		1年　計						55	885	2年　計						50	870
		2年間　合計														105	1755

行事	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
	スタートアップセミナー	中村学園祭	オリエンテーション	中村学園祭
	オリエンテーション	AAセミナー		
	ユニバーサルマナー検定			

共通科目

シラバス（授業計画）

科目名	ホスピタリティⅠ・Ⅱ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	1 年 前期・後期	単位数	前期 ： 1 単位 後期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 15 時間 後期 ： 15 時間
担当	黒坂 明子				
	実務経験 ： 有 ・ [無]				
授業概要	ホスピタリティマインドとは「相手の立場に立って考え、相手を慮る心」です。 お客様に接客するうえで必要な知識やマナーの実践に、ホスピタリティマインドを活かせるようサポートします。 心理学の知見を応用し様々な角度から自分自身を振り返り、自己肯定感や行動変容の重要性を学びます。ワークを通して「気づき」を促しながら人間力を高め、気持ちよくおもてなしが発揮できるよう、ITHB の教育理念に基づいた「ホスピタリティ豊かな人材の育成」のゴールを目指します。				
到達目標	あらゆるタイプの人とも上手に交流できるようになる 周りから見られている自分のイメージを確認し、自己改善を図る おもてなしの心を形にできるようになる				
検定資格	[なし] ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	ホスピタリティマインド養成ワークブック （㈱ホロス人材開発研究所）				
授業計画	【ホスピタリティの理解 「プラスの視点」の重要性】 ・ホスピタリティとは・・・ ・他己紹介による自分表現 ・マイナス思考とプラス思考 ・マイナス思考に陥った場合の対処行動 【ホスピタリティマインドの確立】 ・他者理解・他者受容 ・価値観とは？・グループ討議 ・自分の物の見方や考え方を知る ・相手を受け入れることの重要性 【ホスピタリティマインドの発揮 豊かな触れ合いのために・・・】 ・ストローク（触れ合い）の理解 ・ストローク演習・DVD観賞 ・自画像と他画像の違い・他者からの自分のイメージを知る ・気付きと自己改善の勧め 【ホスピタリティサービスの本質】 ・モノ的なサービスとヒト的なサービス・CSと顧客心理 ・ホスピタリティ産業について ・ディズニーにおけるおもてなし ・「おもてなしの心」を「形」に・・・				
成績評価 方法	試験、授業態度、出席日数 （下記評価基準に基づく）				
成績評価 基準	A：評価試験 85 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B：評価試験 60 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C：評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D：評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

社会人になる前の貴重な学生生活が始まります。 新たな友人との出会いと、様々なことへのチャレンジを通して、自分を今より素敵に変えてみませんか？

シラバス（授業計画）

科目名	キャリアデザインⅠ・Ⅱ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期 ： 2単位 後期 ： 5単位	時間数	前期 ： 30時間 後期 ： 75時間
担当	就職担当				
	実務経験 ： 有 ・ [無]				
授業概要	専門学校への入学は、就職を前提とした各人の進路を見出すことが大きな意義です。就職をする上で最も重要なことは自分を知ることです。当授業では、職業人としての心構えを身に付け、ツールを使用した自己分析を行い、自分の強みや他者理解について学びます。 就職活動開始までに必要な事項を学び、演習を通じて就職活動本番で結果を出せるよう自信をつける授業です。 就職活動は各自の目指す業界、企業により開始時期が異なるため、授業をベースとしながら個々の進行に応じて個別にバックアップし、内定に向けたサポートを行います。				
到達目標	1、社会人へのステップに繋がる職業人としての基礎知識とマインドを身につける。 2、学生生活や人間関係、将来の仕事などで役に立つ自分の強みについて知る。 3、就職活動の基本的な考え方を理解し、実践に備える。 4、内定を勝ち取るための準備を進め、就職活動を通じて社会で通用する人材を目指す。				
検定資格	[なし] ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	「LIFO テキスト」（㈱ビーコンラーニングサービス） 「個人レポート」（㈱ビーコンラーニングサービス） 「質問紙」（㈱ビーコンラーニングサービス） 「MY CAREER NOTEⅢ」（ベネッセ i-キャリア）				
授業計画	【職業とキャリア】 人はなぜ働くのか？仕事と職業、職業の三要素、働くことの意義と目的 職業の形態と種類、職業選択と自分がめざす生き方、職業人としてのマインド、 生活の自立と自律、最近の社会事情 【自己理解】 LIFOの基本的考え方の理解、コミュニケーションと自己理解の関係、 自己理解3つの方法、自己点検実施と発表、ライフライン記入、 自己分析シート記入、LIFO（ライフォ）質問紙記入と採点、 4つのスタイルの具体的理解、診断分析、個人レポート作成、自分の強みの整理、 自己分析シート（強みの過剰使用）への落し込み、4つのスタイルとアプローチ、 失敗経験と分析、自分のスタイルと他者スタイルの理解 【就職活動実践】 就活の流れ、就活サイト登録と使用方法 求人票の見方、雇用形態、社会保険、年金制度 自己分析、他己分析 自己PR作成、履歴書・ES作成ポイント、企業研究、志望動機対策 面接演習、GPワーク試験対策、小論文演習、SPI対策と模擬試験演習、企業セミナー				
成績評価 方法	期末試験の得点ならびに出席率がメインとなります。平常点は就職活動(進路活動)の取り組む姿勢、 授業態度、提出物などが評価基準です。				
成績評価 基準	A：評価試験85点以上　かつ　出席率90%以上、平常点優 B：評価試験65点以上　かつ　出席率80%以上、平常点良 C：評価試験40点以上　かつ　出席率60%以上、平常点可 D：評価試験40点未満、出席率60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	就職筆記対策Ⅰ・Ⅱ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期 ： 1単位 後期 ： 1単位	時間数	前期 ： 15時間 後期 ： 15時間
担当	担当講師				
	実務経験 ： 有 ・ 無				
授業概要	日本の多くの企業が就職採用試験で実施している筆記テストの対策授業。 就職試験に用いられるテストには、企業が独自で作る一般常識などのテストのほかに、専門業者が開発・販売している適正検査がたくさんあります。当授業では、日本で最も多く使われている採用テストであるSPI（リクルート販売商品）対策を中心に行います。就職筆記試験は、問題量が多く、解ききれないくらい出題されるケースもありますが、問題レベルはそれほど高いわけではありません。対策すれば必ず点数は上がります。				
到達目標	・就職活動における採用試験の“絞り込み”に勝ち残る基礎学力を身につける。 ・仕事をする上で必要な基礎学力を身につける。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	専門学校生のための就職筆記試験対策問題集【Webテスト付】（ウイネット）				
授業計画	【非言語能力対策】 推論 順列・組み合わせ 確率 速度算 集合 【言語能力対策】 漢字の書き取り・読み 二語の関係 語句の意味 ※愛澤クラスは中間試験を実施し、中間と期末の平均点で評価をします。				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：出席率80%以上、平常点良好、授業内期末試験80点以上 B：出席率80%以上、平常点良好、授業内期末試験60点以上 C：出席率60%以上、平常点良好、授業内期末試験40点以上 D：出席率60%未満、平常点不良、授業内期末試験40点未満				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	ビジネスコミュニケーション Ⅰ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	講義・演習
実施期	1 年 前期	単位数	前期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 15 時間
担当	井部・須田・橋本				
	実務経験 ： 有 ・ 無				
授業概要	目的:観光業界の社会人として最低限のビジネスマナーを理解・実行できる事。 概要:ビジネスシーンで誰もが当たり前に行動している挨拶や言葉遣い、接遇を学びます。				
到達目標	1 年次夏休みの実習や後期から開始される就活で、自信をもって行動できるようになる。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:秘書検定				
教科書 教材	秘書検定合格教本2・3級　新星出版社				
授業計画	【挨拶と人間関係】 挨拶の重要性 第一印象の重要性 相手に良い印象を与えるコツ 【社会人心得】 自己管理・4つのポイント 社会人としてのルール 報告・連絡・相談 【敬語を使いましょう】 敬語の種類 正しい敬語の使い方 接遇用語の表現 接遇の立ち振る舞い（受付、名刺の受け取り方） 【実践！ビジネスコミュニケーション】 上手な聞き方、話し方 命令・指示、忠告・注意の受け方 電話の受け方と取り次ぎ方、メモの残し方 領収書の記入方法				
成績評価 方法	評価試験には期末試験の他、演習試験や小テストを含みます。				
成績評価 基準	A:評価試験 80 点以上、出席率 85%以上、平常点優 B:評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C:評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D:評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	パソコン			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	1年 前期	単位数	前期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 15 時間
担当	宮﨑 愛子 ・ 長谷川 慶太				
	実務経験 ： 有 ・ 無	パソコンスクールにてインストラクターとして実務経験あり			
授業概要	現代社会において、基本的なパソコン操作は必須スキルです。 基礎的なPC操作を理解するとともに、Word・Excel の基本操作を修得します。				
到達目標	アプリケーションの起動やファイル操作をはじめ、Word・Excel を使用した簡易的な文書作成ができることを目標とします。 また、文書作成において重要なタッチタイピングスキルを“ホームポジションを意識して両手で文字が打てるレベル”まで伸ばしましょう。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　名称：マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)検定・Word 文書処理技能認定試験 Excel 表計算処理技能認定試験・PowerPoint プレゼンテーション技能認定試験				
教科書 教材	・「 30 時間アカデミック情報リテラシー　Office2016 」（実教出版） ・ USB メモリ				
授業計画	【 PC 基本操作の確認 】 ・アプリケーションの立ち上げや、基本的なファイル操作 ・ホームポジションを意識したタッチタイピングの練習 【 Word 基本作業 】 ・文章入力（ベタ打ち）と併せて、文字装飾を行う ・ワードアート、図形描画、テキストボックス等を利用し、表現力のある文書ファイルを作成する ・ビジネス文書の基礎と仕組みを学び、挨拶文の挿入、入力オートフォーマット、表作成等を使いこなす 【 Excel 基本作業 】 ・データ入力の基礎を学ぶ ・数式を用いた計算をはじめ、基本的な関数を利用した表計算機能を使いデータファイルを作成する ・関数を利用して作成したデータをグラフへ変換し、視覚的分析の方法を学ぶ				
成績評価 方法	※授業への参加度や授業態度などを加味して、平常点は 20 点満点とする。（上記評価点数に組み込まれる） ※Word・Excel 共に、文書ファイル作成を課題として提出する。				
成績評価 基準	A：評価試験 80 点以上、出席率 90%以上、課題提出、平常点 15 点以上優 B：評価試験 70 点以上、出席率 80%以上、課題提出、平常点 10 点以上良 C：評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、課題提出、平常点 5 点以上可 D：評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、課題未提出、平常点 5 点未満不可				

学生へのメッセージ

現代社会において、基本的なパソコン操作は必須スキルです。さまざまな企業で日常的にパソコンを使用して業務を行います。
「スマートフォンの方が使いやすい」「スマートフォンなら文字を早く打てる」という意見もありますが、就職してから戸惑わないよう、前向きに学習してみましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	Let's Speak English Ⅰ・Ⅱ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	1 年 前期・後期	単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間 後期 : 15 時間
担当	語学担当講師				
	実務経験 : 有 ・ 無				
授業概要	「英語で外国人と会話が出来たら. . . 」ちょっとしたスキルとちょっとした勇気で、それは誰にでも実現可能なことです。シンプルなキーセンテンスを応用して使えるように、会話、リスニング、アクティビティを通して練習していきます。クラスはレベル別に分かれますが、どのクラスも授業は出来る限り English Only で進めます。				
到達目標	日常的な話題について、シンプルな英語でコミュニケーションをとることが出来る。 異なる国や文化の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとすることが出来る。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	Speak Now Level 1 Student Book (Oxford)				
授業計画	【New Friends】 Greetings, self-introductions, asking for personal information,. 【Interests】 Music, movies, time, sport. 【People】 Family, personality, clothes. 【Daily Life】 Routines, sequences, be -ing.				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A:評価試験(理解度)80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B:評価試験(理解度)60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C:評価試験(理解度)50%以上、出席率 60%以上、平常点可 D:評価試験(理解度)49%以下、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

Don't be shy! Do your best!

キャビンアテンダントコース

専門科目

シラバス(授業計画)

科目名	English Communication Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	1 年 前期・後期	単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数	前期 : 30 時間 後期 : 30 時間
担当	Native teacher				
	実務経験 : 有 ・ [無]				
授業概要	Students will improve their English communication skills with a variety of conversation, speaking and activity-based classes with a native English teacher.				
到達目標	Students will become used to interacting with a native English speaker, and learn a variety of English skills that they will be able to use in future at work and when travelling and studying abroad.				
検定資格	[なし] ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	Stretch Level 1 Student Book (Oxford)				
授業計画	前期 - Jobs - Daily Activities - At the Moment - Feelings - On the Weekend - Downtown 後期 - People we Admire - At the Supermarket - Health Problems - Cities - Music - Travel Plans				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A:評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、平常点 優 B:評価試験 70 点以上、出席率 80%以上、平常点 良 C:評価試験 60 点以上、出席率 60%以上、平常点 可 D:評価試験 60 点未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	TOEIC Advanced 対策Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース			授業形式	講義
実施期	1 年 前期・後期	単位数	前期 : 4 単位 後期 : 4 単位	時間数	前期 : 60 時間 後期 : 60 時間
担当	担当講師				
	実務経験 : 有 ・ 無				
授業概要	英語によるコミュニケーション能力評価する世界の共通テストである。 現在ほとんどの企業は TOEIC スコア保持者を採用条件として設定している。				
到達目標	航空会社の場合は 600 点～700 点を最低条件とする、その目標スコア獲得する。 さらにハイスコアを在学中に目指し、取得し、付加価値をつけて就職を有利にする。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称: TOEIC				
教科書 教材	Effective approaches to grammar and reading on the TOEIC test 朝日出版社 TOEIC 書き込みドリル　　スコア 650　　文法編　　桐原書店　　などコピー配布対応 TOEIC L&R 公式ボキャブラリーブック　ＩＩBC				
授業計画	【Listening 演習】 写真描写問題／応答問題 公式問題集を使用して演習問題を反復 【Listening 演習】 会話問題／説明文問題 【Reading 演習】 短文穴埋め問題／長文穴埋め問題 【Reading 演習】 読解問題／1つの問題／2つの問題				
成績評価 方法	毎回の小テスト実施(vocabulary & Collocation)				
成績評価 基準	A:評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点　優 B:評価試験(理解度)70%以上、出席率 80%以上、平常点　良 C:評価試験(理解度)40%以上、出席率 70%以上、平常点　可 D:評価試験(理解度)40%未満、出席率 70%未満、平常点　不可				

学生へのメッセージ

在学中に目標スコアを絶対に取得する！！

シラバス（授業計画）

科目名	Ideas & Opinions Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース			授業形式	講義・演習
実施期	1 年 前期・後期	単位数	前期 ： 1 単位 後期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 15 時間 後期 ： 30 時間
担当	担当講師				
	実務経験 ： 有 ・ 無				
授業概要	21世紀に入り、ビジネスの世界ではプリゼンテーションの重要性が近年ますます高まってきています。学生が高い関心を持つトピックを選び、(、喫煙・飲酒、携帯電話、結婚など) それぞれの論点を把握、それに関する英語表現を学びコミュニケーション能力を高める				
到達目標	国際共通語である英語で、自己表現と、議論ができるようになることを目的とする。 学内の Speech Contest の際に上位入賞を目指す。(実績としては優勝、準優勝など)				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	Which side are you on?　成美堂				
授業計画	【Cell phone/ life style】 Reading →論点を見つける→Pros & Cons →議論の手法を学ぶ→ 発展応用練習 【Should we marry earlier or later】 Reading →論点を見つける→Pros & Cons →議論の手法を学ぶ→ 発展応用練習 【Limit traffic in the city centers?/Should both parents work?】 Reading →論点を見つける→Pros & Cons →議論の手法を学ぶ→発展応用練習 【Should develop computer skills?/Should we continue to develop human cloning technology?】 Reading →論点を見つける→Pros & Cons →議論の手法を学ぶ→発展応用練習				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点　優 B：評価試験(理解度)70%以上、出席率 80%以上、平常点　良 C：評価試験(理解度)60%以上、出席率 60%以上、平常点　可 D：評価試験(理解度)60%未満、出席率 60%未満、平常点　不可				

学生へのメッセージ

What matters most is to express why you think!!

シラバス（授業計画）

科目名	手話講座Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	1 年　前期・後期	単位数	前期 ： 1 単位 後期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 15 時間 後期 ： 15 時間
担当	藤田敦子				
	実務経験 ： 有 ・ 無	江戸川区登録手話通訳者			
授業概要	ユニバーサルサービスとして接客における手話を身に着ける。前期は聴覚障害者概要の講義と6・5級の単語学習を中心におこない、後期は聴覚障がいをお持ちのお客様に対して手話でのコミュニケーションがとれるようロールプレイ等をおこなう。				
到達目標	1年次においては手話検定 5 級レベルを目指す。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:手話技能検定 5 級				
教科書 教材	手話技能検定公式ﾃｷｽﾄ5・6・7級（日本能率協会マネジメントセンター）				
授業計画	【日常生活で必要な基本を学習Ⅰ】 あいさつ・天候・疑問・数字・日にち・時間・家族・色・方角・感情・動作・自然・仕事などを学習する。 【日常生活で必要な基本を学習Ⅱ】 食べ物・動物・スポーツ・趣味・乗り物・形容詞・接客手話などを学習する。 【日常生活で必要な基本を学習Ⅲ】 接客で使う手話や検定対策に向けて過去問題の学習を行う。 【聴覚障害概要の学習】 手話とは・聴覚障害者とは・聴覚障害者数・身体障害者手帳（身体障害者等級）・聴覚障害者のコミュニケーション方法・合理的配慮・手話言語条例・強みと弱み・ろう文化・聴覚障害者の余暇活動など				
成績評価 方法	授業内におこなう実技試験と期末試験、出席率、授業態度を総合的に評価します。				
成績評価 基準	A:評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、平常点優 B:評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C:評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D:評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	中国語Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期 ： 1単位 後期 ： 1単位	時間数	前期 ： 30時間 後期 ： 30時間
担当	張翼飛				
	実務経験 ： 有 ・ 無				
授業概要	この授業ははじめて中国語を学習する学生を対象とする。発音の習得を重視しつつ、簡単な語彙や表現を身につけることを目指す、初歩的な中国語でコミュニケーション。				
到達目標	まず中国語の基本発音からスタートする、ピンインを読んで発音できる、それから日常によく使われる会話を話せるように、繰り返し練習ことによって身につける。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称：中国語検定試験				
教科書 教材	中国語初歩の初歩（高橋書店）				
授業計画	【中国語の概要】 中国語のピンインと四声の練習 名前を中国語で言ってみましょう 出会いと別れの言葉 返事と呼びかけ 【基本文法】 動詞述語文を学習 形容詞述語文を学習 名詞述語文を学習 文の組み立て方 【基本表現】 数字の数え方 日付と曜日の言い方 お金の単位と言い方 【テストと復習】				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験（理解度）80%以上、出席率 80%以上、平常点　優 B：評価試験（理解度）70%以上、出席率 70%以上、平常点　良 C：評価試験（理解度）40%以上、出席率 60%以上、平常点　可 D：評価試験（理解度）40%未満、出席率 60%未満、平常点　不可				

学生へのメッセージ

中国語を習得してから、日常生活楽しいこともひとつ増えますし、航空業界への就職に断然有利です。ぜひ中国語授業を楽しんでください。

シラバス(授業計画)

科目名	韓国語 Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	1 年 前期・後期	単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数	前期 : 30 時間 後期 : 30 時間
担当	渡部 茂				
	実務経験 : 有 ・ 無				
授業概要	対面形式の教科書を中心にして、文字から発話までの 2 年次に繋がる一連の約束事の基礎固めの学習をする。				
到達目標	日常生活上の動作性動詞の活用形 を反復練習することで、四つのバランス 即ち 「聞く・話す・読む・書く」 の場面に即した、簡単な韓国語会話が出来るようになること。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称: ハングル検定 (日本主催)、 韓国語能力試験 (韓国主催)				
教科書 教材	「日本語式から学ぶ韓国語概説 」　渡部 茂 著				
授業計画	01. 簡単な日常会話と旅行会話 一日の行動の基本的な会話、日常生活の多頻度の動詞 (コロケーション) 02. 文字と発音のルール 韓国語とは、文字の枠組み、連音化と有声音化、鼻音化、流音化、濃音化、激音化、口蓋音化、頭音法則 長母音と短母音 03. 数詞と助数詞、序数詞 漢数詞、固有数詞、曜日、時間時計、お金の計算等 04. 指示代名詞と疑問詞 これ・それ・あれ・どれ、 5W-1H (いつ・誰が・何を・どこで・幾ら)等 05. 助詞 一音節 (は・が・を・に・も・で)、二音節 (まで・でも・しか・より・から・すら) 06. 用言の活用形 指定詞 (～です・～ます)、存在詞 (あります・います)、否定表現 (行かない・行けない) 連体形 (現在・過去・未来・回想過去)、連用形 (～てみる、～ておく、～てしまう 等の ～て表現) 使役形・受身形 (れる・られる) 07. 待遇表現 下称形・中称形・上称形、 禁止形・婉曲表現、尊敬の補助語幹 (お～・御～表現) 08. 依存名詞 ～こと・～もの・～はず・～だけ・～のみ 等の適切な表現 09. 韓国漢字語 日本漢字音と韓国漢字音の比較対照(時系列的な音韻の変化) 漢字文化圏の共通音韻 10. 擬態語・擬声語 (オノマトペ) と 接頭辞と接尾辞 キラキラ・ガヤガヤ・キョロキョロ・スイスイ・ズキズキ 等 11. 文化的なもの 親族の名称・朝鮮半島略図・東アジア歴史年表・般若心経 (漢字語学習) 等 ※授業内の各単元演習小テスト実施				
成績評価 方法	出席の状況、並びに積極的な授業参加への意欲・姿勢等				
成績評価 基準	A: 出席率 80%以上、 評価試験 (理解度) 80%以上、 B: 出席率 70%以上、 評価試験 (理解度) 70%以上、 C: 出席率 60%以上、 評価試験 (理解度) 60%以上、 D: 出席率 60%未満、 期末試験 受験不可				

学生へのメッセージ

中高 6 年間で学習してきた英語の授業方法を振り返り、偏差値獲得の為の例文の丸暗記学習ではなく、自分の言葉で組み立てながら、実践的に「使える韓国語」の獲得を目指すものである。この授業を通して外国語の勉強法を再確認し、もう一度英語の勉強にフィードバックして欲しい。その為には継続して授業に参加することが望ましい。

シラバス（授業計画）

科目名	エアライン概要Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース			授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期 ： 1単位 後期 ： 1単位	時間数	前期 ： 15時間 後期 ： 15時間
担当	担当講師				
	実務経験 ： 有 ・ 無	エアライン業界にて地上職及び客室乗務員として実務経験あり。			
授業概要	エアライン業界の現状を知ることが目的の講座です。 【Ⅰ・前期】航空業界の基礎知識を学習する。 学んだ知識を基に、グループ毎にテーマに沿ったプレゼンテーションを行う。 【Ⅱ・後期】課題を通して業界の変わりゆく現状を理解・把握した上で、就職活動につなげていく。 興味を持ったエアライン業界のニュース（業界の最新情報）について調べ、要約し考察して発表する。				
到達目標	○エアライン業界の基礎知識を習得し、最新情報を理解し、業界の現状を把握する。 ○グループワークを通して知識を定着させ、コミュニケーション力と協調性を体得する。 ○課題を通して就職活動に必要な企業研究の進め方を身に付け、自分の意見をまとめる力を培う。 ○発表・質疑応答を通して、社会人として必要な言葉遣いや文章構成力・伝わる話し方を身に付ける。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	適宜プリント配布				
授業計画	【航空業界基礎知識（Ⅰ・前期)】 ○コロナ前とコロナ後の航空業界の現状 ○日本に乗り入れている外資系航空会社と日系航空会社 ○レガシーキャリア / LCC / 新興航空会社 ○成田・羽田とその他の国内外の主要空港について ○「ポイント to ポイント」と「ハブ and スポーク」 ○アライアンス ○マイレージプログラム ○航空機メーカーと主要機種　（順序不同） 【グループワーク: プレゼンテーション（Ⅰ・前期)】 基礎知識として学習した内容を基に、グループ毎にテーマに沿ったプレゼンテーションの準備をし、発表する。 【ニュースサマリーと発表（Ⅱ・後期)】 課題として、毎週各自が興味を持った業界ニュースを1つ選び、調べ、要約、考察したものをノートにまとめる。 授業では、まとめた内容を希望者が発表する。質疑応答で答えられなかった件は、再課題として次回までに調べて発表する。 発表者・質問者共に講師からフィードバックを受ける。				
成績評価 方法	【前期】 期末試験・出席状況・プレゼンテーション及びグループワークへの貢献度・授業参加意欲などを総合評価して判断する。 プレゼンテーションを欠席した場合は、平常点（100点満点）から50点をマイナスする。 【後期】 期末試験・出席状況・課題提出回数及びその内容・発表回数及びその内容・授業参加意欲を総合評価し判断する。 期末試験前（10週目頃）に、中間試験の代わりとして一度課題ノートを提出する。 課題の未提出/指定した回数に満たない場合は、例外なく不認定とする。				
成績評価 基準	A: 評価試験（理解度）90%以上、 出席率 90%以上、 平常点（授業参加意欲） 秀・優 B: 評価試験（理解度）80%以上、 出席率 80%以上、 平常点（授業参加意欲） 良 C: 評価試験（理解度）70%以上、 出席率 70%以上、 平常点（授業参加意欲） 可 D: 評価試験（理解度）70%未満、 出席率 70%未満、 平常点（授業参加意欲） 不良				

学生へのメッセージ

現実的な「就職先」としてのエアライン業界の現状を理解するための授業です

シラバス（授業計画）

科目名	業界ガイド			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・ エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	1 年　前期	単位数	前期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 15 時間
担当	担当講師				
	実務経験 ： 有 ・ 無	エアライン業界にて地上職及び客室乗務員として実務経験あり。			
授業概要	航空業界へのガイダンスとして、基本的な事柄を幅広く理解することが目的の講座です。 「誰が」「何のために」「どこで」「何を」しているのかを具体的に学び、それらの職種や業種の相関関係を理解していきます。				
到達目標	○空港内外の主な職種や業種について学び、航空業界に関する理解を深める ○具体的な業務内容を学び、就職活動への足掛かりとする				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	適宜プリント配布				
授業計画	① 導入 ：【授業の目的と進め方】 ②【航空業界のコロナ前とコロナ後について】 ③【パッセンジャーハンドリング】　グランドスタッフ業務一般 （チェックイン ・ ゲート・アテンド ・ バゲッジクレーム ・ トランジットなど） センディング ・ インフォメーション ・キャビンアテンダント 免税店などの物品販売 ・ セキュリティー　（順序不同） ④【グランドハンドリング】　シップサイドランプ業務 （マーシャリング ・ トーイング／プッシュバック ・ ローディングなど） ⑤【エアカーゴ】　貿易実務（ドキュメンテーション） ハンドリング 通関士				
成績評価 方法	評価試験・出席状況・平常点(授業参加意欲)を総合評価して判断する。				
成績評価 基準	A ： 評価試験（理解度・貢献度）90%以上、 出席率 90%以上、 平常点　秀・優 B ： 評価試験（理解度・貢献度）80%以上、 出席率 80%以上、 平常点　良 C ： 評価試験（理解度・貢献度）70%以上、 出席率 70%以上、 平常点　可 D ： 評価試験（理解度・貢献度）70%未満、 出席率 70%未満、 平常点　不可				

学生へのメッセージ

航空業界の基礎の基礎。 コレを知らずに就職活動は始められません！

シラバス（授業計画）

科目名	CA入門			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース			授業形式	演習
実施期	1 年　前期	単位数	前期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 15 時間
担当	湊 さやか				
	実務経験 ： 有 ・ 無	エアライン業界にて客室乗務員として 7 年間の実務経験あり。			
授業概要	将来客室乗務員として働くために必要な、航空業界の基礎知識を習得します。 一機の飛行機が安全に飛び立っていく…　そのために、空港で働く様々なスタッフが協力し、 関わり合っています。客室乗務員もそのチームの一員です。チーム内の連携がスムーズにいくために必要となる 業界用語、2 レター、また、旅客の出入国の流れについて学びます。				
到達目標	①学習内容を全て理解し、習得する。 ②コードや用語についてはしっかりと覚え、定着させる。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	なし（プリント配布）				
授業計画	【イントロダクション/2 レターコード】 成田空港就航航空会社の 2 レターコードについて 【出入国（CIQ）】 出国手続きの流れ / 受託手荷物・機内持ち込み制限 入国手続きの流れ / 免税範囲・課税計算 【Baggage】 機内持ち込み/受託手荷物の制限と超過料金について 【業界用語】 頻出業界用語を覚える 【E チケット】 E チケットについて、記載内容 【期末テスト】				
成績評価 方法	授業への参加意欲 授業内小テスト 期末テスト				
成績評価 基準	A：評価試験（理解度）80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B：評価試験（理解度）70%以上、出席率 85%以上、平常点良 C：評価試験（理解度）60%以上、出席率 70%以上、平常点可 D：評価試験（理解度）60%未満、出席率 70%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	美育Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース			授業形式	演習
実施期	1 年　前期・後期	単位数	前期 ： 1 単位 後期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 15 時間 後期 ： 15 時間
担当	湊 さやか				
	実務経験 ： [有] ・ 無	エアライン業界にて客室乗務員として 7 年間の実務経験あり。			
授業概要	客室乗務員には、心と身体の強さと美しさが求められます。この授業では、教室の枠にとらわれず様々な課題にチャレンジすることにより、感性豊かな心、好奇心、強い精神力、教養、体力、柔軟性など、みなさんの内面の「美」を育てます。駅伝では、チームのために自分のベストを尽くすことの素晴らしさを経験してください。				
到達目標	①体力と精神力の向上 ②視野の広がりを感じること				
検定資格	[なし] ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	天声人語書き写しノート・学習用 （朝日新聞）				
授業計画	【読書（感性）】 課題文章を読み、感じたことを文章に書く 【座禅（精神）】 座禅の精神を理解する 座禅の実践と講義 【天声人語（教養）】 天声人語を書き写し、要約や言葉の意味を調べることで、言葉や文章の力を伸ばす。また、時事問題への関心を高める。 【ランニング（体力）】 駅伝出場に向けたトレーニング。持久力と忍耐力を養う。				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験（理解度）90%以上、出席率 90%以上、平常点優 B：評価試験（理解度）80%以上、出席率 85%以上、平常点良 C：評価試験（理解度）70%以上、出席率 70%以上、平常点可 D：評価試験（理解度）70%未満、出席率 70%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	機内サービス実技演習Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース			授業形式	演習
実施期	1 年　前期・後期	単位数	前期 ： 1 単位 後期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 15 時間 後期 ： 15 時間
担当	湊 さやか				
	実務経験 ： [有] ・ 無	エアライン業界にて客室乗務員として 7 年間の実務経験あり。			
授業概要	客室乗務員として働くための接客技術を基礎から学びます。機内モックアップを使用したロールプレイを中心に、サービス業務と保安業務の流れと動作を習得します。後期はエアポートサービスコースとの合同授業となり、11 月の中村学園祭で発表するシミュレーションフライトに向けて、繰り返し実技練習を行います。				
到達目標	機内接客にふさわしい所作と言葉遣いで、 機内サービス、機内アナウンス、保安業務を行うことが出来る。				
検定資格	[なし] ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	なし（プリント配布）				
授業計画	【立居振舞】 姿勢・お辞儀・笑顔・視線 スカーフの結び方 【実技演習】 機内アナウンス（ウェルカム）読み合わせ/実践 非常用設備のご案内　動作の確認/実践 機内サービス　動作の確認/実践 機内アナウンス（到着）読み合わせ/実践 通し練習/実技テスト 【シミュレーションフライト練習】 チーム分け、役割分担、流れの確認 チームごとに通し練習 本番を想定したリハーサル 【シミュレーションフライト発表】 学園祭での発表				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験（理解度）90%以上、出席率 100%以上、平常点優 B：評価試験（理解度）80%以上、出席率 80%以上、平常点良 C：評価試験（理解度）70%以上、出席率 60%以上、平常点可 D：評価試験（理解度）70%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	メイクアップ講座			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース			授業形式	演習
実施期	1 年 前期	単位数	前期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 15 時間
担当	秋元幸子				
	実務経験 ： 有 ・ 無	美容業界にて実務経験あり。			
授業概要	自身の美しさを最大に引き出すメイクアップ理論と技術を基本から学びます。更に、長時間の撮影にも崩れず美しさをキープする女優メイクのプロ技術や裏ワザを修得することができます。カラーコーディネートや TPO に合わせたメイク、リクルートメイクとヘアも学びます。				
到達目標	基本のメイクアップ理論と技術の取得で、自身の美しさを引き出し、自信をもってリクルートメイクとヘアを完成できるレベルになる。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	【メイクアップ理論 1/メイクアップ理論 2/スキンケア 1/スキンケア 2】 メイクアップの目的と意義 光と色、カラーコーディネート お肌と心と体の関係性、デドックス等 基礎化粧品の使用法と効果とお手入れ方法 【クレンジング/ベースメイクアップ技術 1/ベースメイクアップ技術 2/ベースメイクアップ技術 3】 ポイントクレンジングと全体クレンジングのプロセス ベースメイクアッププロセスと基本の指使い コントロールカラー、ファンデーション、ハイライト フェイスパウダー等使用法復習 【メイクアップのポイントとカラーコーディネート】 眉の描き方、アイホールの確認、アイシャドウ、チーク、リップ 美しい肌作り、まつげカール、シェーディング 【メイクアップのポイント/TPO に合わせたメイクアップ 1/TPO に合わせたメイクアップ 2】 冠婚葬祭、日常のシーンでのメイクアップ まとめ 【リクルートメイク、ヘア 1/リクルートメイク、ヘア 2/リクルートメイク、ヘアの完成】 リクルートメイク、ヘアの理論と実習 リクルートメイク、ヘアの実習 リクルートメイク、ヘアを完成し、作品公表と評価 【授業全体のまとめ】 まとめとテスト				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験（理解度）90%以上、出席率 100%以上、平常点　優 B：評価試験（理解度）80%以上、出席率 80%以上、平常点　良 C：評価試験（理解度）60%以上、出席率 60%以上、平常点　可 D：評価試験（理解度）60%未満、出席率 60%未満、平常点　不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	ワールドディスティネーションズⅠ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	1 年　前期・後期	単位数	前期 ： 1 単位 後期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 15 時間 後期 ： 15 時間
担当	担当講師　石松				
	実務経験 ： [有] ・ 無	旅行業界にて旅程管理実務経験あり。			
授業概要	みなさんが本校で学ぶ科目の多くは、世界地理の知識を必要とします。 2年間を通しての本科目の目的は、大きく分けて以下の 3 つです。 ① 世界の主だった渡航先や輸出入が行なわれる国々について幅広く学び、基本的な知識を身に着ける ② アマデウスやディプロマ等、他科目の学習の手助けとなる ③ 世界の国や地域の事情について考察できるようになる 1 年次：概論（地図の把握／世界の主要な国・首都・空港所在地の把握／代表的な観光資源・文化および輸入品） 2年次：各論 また、授業内容に関連しそうなニュースがあれば、その週のトピックスとして取り上げます。 なお、授業の目的及び性質上、観光英検などの受検対策と目的とするものではありません。				
到達目標	1 年次：緯度経度とそれに関連する事項について理解し、考察することができる。世界のエリア、主要な国や地域、都市、空港所在地を地図上で把握することができる。各地の特徴を大まかに把握することができる。				
検定資格	[なし] ・ 必修 ・ 任意　　名称：				
教科書 教材	旅に出たくなる地図 世界 （帝国書院） 世界白地図 （JTB 総合研究所） プリント適宜配布				
授業計画	【 学びの目的 】 授業の目的について説明 【 地図の把握 】 投影法の種類と目的 ／ 緯度・経度（気候と時差） ／ 大陸と地域 【 国・地域の基本情報 】 アジア ／ 中東 ／ ヨーロッパ ／ アフリカ ／ 北米 ／中南米 ／ オセアニア 代表的な国や地域の基本情報（首都、時差、通貨、言語、宗教等）、主要空港がある都市、その地の特徴（代表的な観光資源、事情、輸入品等）。小テストを実施する。 【期末試験と解説】 期末試験 ／ 解説　各期 2 時間ずつ計 4 時間 【研修旅行に向けて】 渡航先について学ぶ（前期） 履修内容・順番は変更される場合があります。				
成績評価 方法	出席率、授業態度、意欲、評価試験				
成績評価 基準	A：評価試験（理解度）80%以上、かつ出席率 80%以上、かつ平常点　優 B：評価試験（理解度）60%以上、または出席率 70%以上、または平常点　良 C：評価試験（理解度）40%以上、または出席率 60%以上、または平常点　可 D：評価試験（理解度）40%未満　または　出席率 60%未満　または　平常点　不可				

学生へのメッセージ

“ディスティネーションズ Destinations”とは、「旅行などの目的地」という意味です。 航空会社や空港、貨物等、国際的なものに関わって活躍しようとする皆さんにとって、世界の地勢や国々に関する基本的な情報は必須です。 机の上で、一緒に世界の旅に出ながら、知識を深めましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	アマデウスⅠ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	1 年 前期・後期	単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間 後期 : 15 時間
担当	湊 さやか/桒原 和希				
	実務経験 : 有 ・ 無	湊:エアライン業界にて客室乗務員として 7 年間の実務経験あり。 桒原:物流関連企業にて 17 年の実務経験あり。			
授業概要	アマデウスは GDS(Global Distribution System)として、全世界の航空会社や旅行会社にとって航空券やホテルなどを手配するための必要不可欠なシステムとなっています。アマデウスの国際線予約基本操作を習得し、アマデウスシステム検定試験 Specialist 資格取得を目指します。				
到達目標	①アマデウスシステムでの予約記録が作成できること。 ②アマデウスシステム検定試験 Specialist 資格の取得。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称: アマデウスシステム検定試験				
教科書 教材	Amadeus 予約ユーザーガイド (最新版) アマデウス予約クイックガイド				
授業計画	【各種コード検索/空席照会/空席照会からの予約】 都市・空港・航空会社コードの検索 空席照会オプション、ショートカット、2 区間の空席照会 予約方法、ステータス(予約)コードを理解する 乗継ぎ便・取消待の予約方法、ｵｰﾌﾟﾝｾｸﾞﾒﾝﾄ、ARNK を理解する 【予約記録 PNR 作成】 基本 PNR の入力必須項目と抽出を理解する PNR の作成(複数人の名前入力)が出来るようにする PNR の作成(INF・CHD の名前入力)が出来るようにする 【SSR 入力/座席のリクエスト/旅程の取消・変更】 SSR の入力、座席リクエストなどが出来るようにする PNR を取り出し、取消・変更などができるようにする 【過去問練習】 過去問練習・解説				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A:評価試験(理解度)80%以上、出席率 90%以上、平常点　優 B:評価試験(理解度)70%以上、出席率 80%以上、平常点　良 C:評価試験(理解度)40%以上、出席率 60%以上、平常点　可 D:評価試験(理解度)40%未満、出席率 60%未満、平常点　不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	エクササイズⅠ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	1 年　前期・後期	単位数	前期 ： 2 単位 後期 ： 2 単位	時間数	前期 ： 30 時間 後期 ： 30 時間
担当	北原　大輔				
	実務経験 ： 有 ・ 無	スポーツインストラクターとして実務経験あり。			
授業概要	健康維持増進のために日頃から身体を動かしておくことは必要不可欠なことであり、また、身体運動量が比較的高い職業においては、高い体力レベルを保持しておくことが望ましいと言えます。 基本的な運動を通じて精神力と敏捷性、持久性、平衡性など、はつらつとした身体をつくります。また、球技スポーツの体験を通して、健康および体力の向上を図るとともに、運動習慣を体得し、生涯に渡り運動・スポーツを実践できるようになることを目指します。加えて、コミュニケーション能力とリスペクトの精神を養うことで、社会人として必要とされる他者と協働する力を鍛えます。				
到達目標	健康づくりのための身体活動基準以上の運動・スポーツの実践 体力向上のための定期的なトレーニングの実践（自己目標の設定）				
検定資格	なし				
教科書教材	必要に応じてプリント配布				
授業計画	【健康と体力/筋トレⅠ/「投げる」球技スポーツ/ウォーキング、ランニング】 「健康」，体力」，「健康と体力の関係」について学ぶ 筋トレ、器具の使い方や効果について バスケットボールなど（競技特性・ルールの理解と実践） ウォーキング、ランニングの正しいやり方と効用 【ストレッチング/持久力トレーニング】 ストレッチングの意義と実践 持久力トレーニングの意義と実践（持続性トレーニング） 【筋トレⅡ/球技スポーツ/運動と安全/体力の測定と評価】 前期より負荷を挙げて筋力アップを図る 傷害の理解と予防 形態計測，筋力測定，運動能力テストの実施と評価				
成績評価方法	※平常点は、授業への参加度や授業態度などを加味して 20 点満点とし、 上記評価点数に組み込まれる。				
成績評価基準	A：授業内期末試験　70 点以上、出席率 90%以上、平常点 15 点以上　優 B：授業内期末試験　50 点以上、出席率 60%以上、平常点 10 点以上　良 C：授業内期末試験　30 点以上、出席率 60%以上、平常点 5 点以上　可 D：授業内期末試験　30 点未満、出席率 60%未満、平常点 5 点未満　不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	Airline English Ⅰ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	1 年　後期	単位数	後期 ： 1 単位	時間数	後期 ： 15 時間
担当	語学担当講師				
	実務経験 ： 有 ・ 無				
授業概要	前期の Let’s Speak English で習得したコミュニケーションスキルを、「仕事で使える英語」に繋げていきます。航空業界で働く際に遭遇する場面での「使えるフレーズ」を覚えることで、英語での対応能力を養います。シンプルなキーセンテンスを応用して使えるように、会話、リスニング、アクティビティを通して反復練習をしていきます。				
到達目標	テキスト Airline English Ⅰ の Conversation を暗記し、グランドスタッフのパートを、テキストを見ないでスムーズに会話することが出来る。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	オリジナルテキスト				
授業計画	【チェックイン業務で使う英語①】 ・航空券の提示 ・パスポートの提示 ・パスポートの有効期限 【チェックイン業務で使う英語②】 ・受託手荷物 ・手荷物の重量制限 ・シートアサイン 【チェックイン業務で使う英語③】 ・搭乗券を渡す ・搭乗時刻の案内 ・フライトの遅延 ・フライトのキャンセル 【復習/会話テスト】 ・復習 ・1 人ずつ会話テストを実施				
成績評価 方法	評価試験は会話テストを実施し、出席率・授業態度と総合して評価します。				
成績評価 基準	A：評価試験（理解度）80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B：評価試験（理解度）60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C：評価試験（理解度）50%以上、出席率 60%以上、平常点可 D：評価試験（理解度）49%以下、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	パソコンスキル Ⅰ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	1 年　後期	単位数	後期 ： 1 単位	時間数	後期 ： 15 時間
担当	宮﨑　愛子				
	実務経験 ： 有 ・ 無	パソコン講師として実務経験あり。			
授業概要	現代社会において、仕事上 PC 操作は必須です。1 年時の学習を踏まえて実践力を習得する。ワードではビジネス文書作成、エクセルでは基本関数およびグラフによるデータの視覚化とデータ分析力を修得する。また、パワーポイント操作ではプレゼンテーション資料の作成を修得する。				
到達目標	ワード・エクセルを含めたPC操作の基本を理解し、ビジネス文章の作成や、データからグラフ作成・データベース操作、パワーポイントを利用したプレゼンテーション資料が作成できるようにする。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称: 日本語ワープロ検定・マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)検定				
教科書 教材	なし（適宜プリントを使用します）				
授業計画	【PC基本操作の確認】 前期に学習したキーボードを利用しての入力練習(英数字・かな・漢字変換・文字の修正)、ワープロソフトを使い文章入力を復習する。 ホームポジションを意識した入力を実施する。 【ワード基本作業】 文章入力練習を行う。 ワードアート・図形描画を利用した表現力のある文書作成を行う。 ビジネス文書の基礎や仕組みを学び、手書き問題からビジネス文書を作成する。（表作成含む） 【エクセル基本作業】 データ入力の基本を学ぶ。 データ入力の基本を理解し、関数を利用した表計算機能やデータベース操作を学習する。 データを利用してグラフ作成を行い、視覚的分析力の方法を学ぶ。				
成績評価 方法	※平常点は、授業への参加度や授業態度などを加味して 20 点満点とし、上記評価点数に組み込まれる。 ※ワード、エクセル共に、文書作成を課題として提出する。				
成績評価 基準	A：評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、課題提出、平常点 15 点以上優 B：評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、課題提出、平常点 10 点以上良 C：評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、課題提出、平常点 5 点以上可 D：評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、課題未提出、平常点 5 点未満不可				

学生へのメッセージ

ワープロ、表計算、プレゼンソフトでは入力速度も必要となるので、日頃から入力練習をしておくことが望ましい。

シラバス（授業計画）

科目名	エアライン受験対策Ⅰ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	1年 後期	単位数	後期 ： 1単位	時間数	後期 ： 15時間
担当	担当講師				
	実務経験 ： 有 ・ 無	エアライン業界にて地上職及び客室乗務員として実務経験あり。			
授業概要	エアライン業界独特の面接試験に重点を置いた受験対策講座です。 【講義】自己分析と企業研究の重要性及びその方法を学習した後、各自でその作業を進める。順次自己PRと志望動機を作成していきます。（企業の面接時期に合わせて逐次個別に対応していきます）。 面接試験の目的や流れ・具体的なチェックポイントや基本的な言葉遣いを学習します。 【演習】模擬面接や質疑応答の反復練習とフィードバックを繰り返し、表情や視線・立ち居振る舞い等の実践的なスキルを体得していきます。				
到達目標	○就職活動の軸である「自己分析と企業研究」の重要性と必要性を理解し、各自が適時進められるようにする。 ○人から見られる事や緊張する事に慣れ、面接試験本番においてより適切な第一印象を残せるようにする。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	適宜プリント配布				
授業計画	① 授業の目的と進め方の説明　就職活動とは ② 自己分析と企業研究について　重要性/必要性と、進め方 ③ 面接試験の目的と流れ　入室 ～ 退室まで・具体的な質問内容とその意図 ④ 第一印象とチェックポイント　みだしなみ・表情・視線・立ち居振る舞い（立ち方・歩き方・座り方・お辞儀等）メラビアンの法則を参照 ⑤ 言葉遣いと話し方　敬語の使い方 ・ 声の大きさ／強さ／トーン ・ 話すスピードなど ⑥ オンライン面接について　注意点（対面式との違い） ⑦ 模擬面接　反復練習 （チェックポイントの再確認 ・ フィードバック） 【適宜個別対応】　自己分析・企業研究・自己PR・志望動機など				
成績評価 方法	評価試験（講義内容の理解度/自己PR・志望動機の進捗状況）・出席状況・授業参加意欲（平常点）で総合評価				
成績評価 基準	A ： 評価試験（理解度・進捗状況）90%以上、 出席率90%以上、 平常点 秀・優 B ： 評価試験（理解度・進捗状況）80%以上、 出席率80%以上、 平常点 良 C ： 評価試験（理解度・進捗状況）70%以上、 出席率70%以上、 平常点 可 D ： 評価試験（理解度・進捗状況）70%未満、 出席率70%未満、 平常点 不可				

学生へのメッセージ

最初は緊張して当たり前です。 大切なのは実際に身体を動かしてやってみる事！ 繰り返し何度も何度も練習していく内に、いつの間にか身体が覚えていきます。 さぁ、背筋を伸ばして笑ってみましょう。

シラバス（授業計画）

科目名	CA実務Ⅰ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース			授業形式	演習
実施期	1年 後期	単位数	後期 ： 1単位	時間数	後期 ： 15時間
担当	湊 さやか				
	実務経験 ： 有 ・ 無	エアライン業界にて客室乗務員として7年間の実務経験あり。			
授業概要	1年次前期CA入門からの続きです。将来客室乗務員として働くために必要な、航空業界の基礎知識を習得します。世界各国の空港3レター、航空会社のアライアンスとマイレージについて学びます。				
到達目標	①学習内容を全て理解し、習得する。 ②コードや用語についてはしっかりと覚え、定着させる。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	なし（プリント配布）				
授業計画	【3レターコード】 日本および世界の主要都市空港3レターコードについて 日本・アジア・ヨーロッパ・北米・中東アフリカ 【アライアンスとマイレージ】 アライアンスとマイレージの目的、メリットについて 【CA業務/CAの編成と資格】 CA業務の流れ CAの編成に関する規則 CAの資格の種類 【機内食】 機内食の種類とコードについて 【期末テスト】				
成績評価 方法	授業への参加意欲 授業内小テスト 期末テスト				
成績評価 基準	A：評価試験（理解度）80%以上、出席率90%以上、平常点優 B：評価試験（理解度）70%以上、出席率85%以上、平常点良 C：評価試験（理解度）60%以上、出席率70%以上、平常点可 D：評価試験（理解度）60%未満、出席率70%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	English Interview			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース			授業形式	演習
実施期	1年 後期	単位数	後期 ： 1 単位	時間数	後期 ： 15 時間
担当	担当講師				
	実務経験 ： 有 ・ 無	エアライン業界にて地上職及び客室乗務員として実務経験あり。			
授業概要	英語面接試験の目的、企業や国ごとの傾向と対策を学び、各自が効果的に英語で自己表現できる方法を見つける事が目的の講座です。業界定番の質問や過去に使われた質問を用い、それに対する応え（答え）方を身につけていきます。				
到達目標	各自の英会話力と人間性に合った自然な表現や語彙を用いて、自分自身を効果的にPRできるようになる。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	適宜プリント配布				
授業計画	●導入: 自己紹介とレベルチェック (Tell me about yourself) 英語での自己紹介と簡単な質疑応答 ●目標設定（逐次変更）: 志望企業の応募資格（英語レベル）・募集時期の確認と目標設定 日系企業が行う英語面接試験の目的 外資系企業で必要な英語力とその理由 ●模擬面接: 過去の質問 企業や国ごとの特色/傾向を知り、対応方法を学ぶ 定番の質問とその目的の再確認 進捗状況に応じた個人指導				
成績評価 方法	評価試験・出席状況・授業参加意欲（平常点）の総合評価。				
成績評価 基準	A ： 評価試験 90%以上、 出席率 90%以上、 平常点 優 B ： 評価試験 80%以上、 出席率 80%以上、 平常点 良 C ： 評価試験 70%以上、 出席率 70%以上、 平常点 可 D ： 評価試験 70%未満、 出席率 70%未満、 平常点 不可				

学生へのメッセージ

英語力は「英語の授業」で伸ばしてください。この授業ではCAの採用面接において何をどう英語で表現するのかを学びます

シラバス（授業計画）

科目名	TOEIC Advanced 集中講座			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース			授業形式	講義
実施期	1 年　後期	単位数	後期 ： 2 単位	時間数	後期 ： 30 時間
担当	担当講師				
	実務経験 ： 有 ・ 無				
授業概要	世界で通用するコミュニケーション英語能力の必要性は益々高まりつつあります。企業の採用条件にもTOEIC の取得スコアが明記されています。その社会のニーズに対応する授業を行ない、結果として就職を有利にする。				
到達目標	客室乗務員採用条件の、必要最低点数 TOEIC スコア 600～700 点以上取得を目指す。 公開テスト、IP test 直前の特別補講授業において、模試スタイルを採用し、本番のテストに備える。図表や文脈を解釈する新方式の問題に慣れる。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称: TOEIC				
教科書 教材	プリント配布				
授業計画	【リスニング問題対策】 リスニング問題演習、発話者の発声、言い回しに慣れる 【リスニング問題対策】 リスニング問題演習、図表／文脈解釈の新方式に慣れる 【リーディング問題対策】 Business English の語彙、文型、読解力に要点を置く 【模擬試験　解説／解答】 実際のテスト形式を採用、内容、時間配分を身につける				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験（理解度）80%以上、出席率 80%以上、平常点　優 B：評価試験（理解度）70%以上、出席率 80%以上、平常点　良 C：評価試験（理解度）60%以上、出席率 60%以上、平常点　可 D：評価試験（理解度）60%未満、出席率 60%未満、平常点　不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	Airport Study			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	1 年　後期	単位数	後期 ： 2 単位	時間数	後期 ： 30 時間
担当	各企業ご担当者様				
	実務経験 ： 有 ・ 無	エアライン企業現役社員が担当。			
授業概要	成田国際空港と羽田空港を実際に訪れ、航空関連企業様を見学させていただき、業務内容や現場を知る。成田国際空港と羽田空港でご活躍されている企業様より直接講義、説明、施設見学をしていただくことで、航空業界の現状を直に学ぶ。				
到達目標	航空業界の現状を直に学び、就職活動への意識向上を図る。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	【TOKYO GLOBAL GATEWAY】 英語「を」活用する「アトラクション・エリア」と英語「で」学ぶ「アクティブイマージョン・エリア」のプログラム体験 【成田国際空港企業訪問①】 1 社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） 1 社目：職場視察 2 社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） 2 社目：職場視察 【成田国際空港企業訪問②】 1 社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） 1 社目：職場視察 2 社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） 2 社目：職場視察 【羽田空港企業訪問①】 1 社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） 1 社目：職場視察 2 社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） 2 社目：職場視察 【羽田空港企業訪問②】 1 社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） 1 社目：職場視察 2 社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） 2 社目：職場視察				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験（理解度）80%以上、出席率 100%以上、平常点優 B：評価試験（理解度）70%以上、出席率 80%以上、平常点良 C：評価試験（理解度）60%以上、出席率 60%以上、平常点可 D：評価試験（理解度）60%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	海外語学研修			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	1 年 後期	単位数	後期 : 2 単位	時間数	後期 : 30 時間
担当	語学学校担当講師				
	実務経験 : 有 ・ [無]				
授業概要	①空港でのチェックイン、出入国の流れ、国際線における客室乗務員の業務など、座学で習得した知識を確認しながら実際に体験をする。 ②6 月に受験する第 1 回目の TOEIC から、9 月受験の第 2 回目に向けてスコアアップを目指し、TOEIC 対策授業を受講する。 ③海外生活を体験しながら英語コミュニケーションスキルを磨き、異文化を理解する。 ④寮(ホテル)での共同生活を通してクラスの団結を深める。				
到達目標	①TOEIC を 100 点以上スコアアップさせる。 ②完璧な英語を話せなくても、積極的にコミュニケーションをとることが出来る。				
検定資格	[なし] ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	現地語学学校指定教材				
授業計画	【1 日目】 Writing・Speaking 実践アクティビティ(校外) TOEIC 対策 【2 日目】 Reading・Speaking 実践アクティビティ(校外) TOEIC 対策 【3 日目】 Grammar・Speaking 実践アクティビティ(校外) TOEIC 対策 【4 日目】 Reading・Speaking 修了スピーチ準備 TOEIC 対策 【5 日目】 TOEIC 模試 卒業スピーチ				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A:評価試験(理解度)80%以上、出席率 100%以上、平常点優 B:評価試験(理解度)70%以上、出席率 95%以上、平常点良 C:評価試験(理解度)60%以上、出席率 90%以上、平常点可 D:評価試験(理解度)60%未満、出席率 90%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

エアポートサービスコース

専門科目

シラバス(授業計画)

科目名	English Communication Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	1 年 前期・後期	単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数	前期 : 30 時間 後期 : 30 時間
担当	Native teacher				
	実務経験 : 有 ・ [無]				
授業概要	Students will improve their English communication skills with a variety of conversation, speaking and activity-based classes with a native English teacher.				
到達目標	Students will become used to interacting with a native English speaker, and learn a variety of English skills that they will be able to use in future at work and when travelling and studying abroad.				
検定資格	[なし] ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	Stretch Level 1 Student Book (Oxford)				
授業計画	前期 - Jobs - Daily Activities - At the Moment - Feelings - On the Weekend - Downtown 後期 - People we Admire - At the Supermarket - Health Problems - Cities - Music - Travel Plans				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A:評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、平常点 優 B:評価試験 70 点以上、出席率 80%以上、平常点 良 C:評価試験 60 点以上、出席率 60%以上、平常点 可 D:評価試験 60 点未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	TOEIC 対策Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	1 年　前期・後期	単位数	前期 ： 3 単位 後期 ： 3 単位	時間数	前期 ： 45 時間 後期 ： 45 時間
担当	日隈 敬子				
	実務経験 ： 有 ・ [無]				
授業概要	このクラスでは今まで習ってきた英語を復習し、TOEIC のための攻略法を身につけていきます。 しっかりとした目標を持ち、それに向かって努力すれば結果は必ずついてきます。 TOEIC の問題に慣れ、目標点が取れるよう頑張りましょう！				
到達目標	TOEIC のテスト形式や出題内容に慣れる。TOEIC の解答方法を身に付ける。 400 点以上を取れるようにする。				
検定資格	なし ・ [必修] ・ 任意　　名称: TOEIC				
教科書 教材	TOEIC L&R テスト　書き込みドリル「スコア 500 全パート入門編」　　桐原書店 TOEIC L&R 公式ボキャブラリーブック　ＩＩBC				
授業計画	各パートの出題形式を知り、解答手順、時間配分を確認する。 練習問題(50 問、30 分)や模試(200 問、2 時間)に取り組み、弱点をチェックし、重要点を押さえる。 単語は授業内でゲームを通して確認する。 【リスニング Part1&2】 最もスコアを上げやすいこのパートを確実に得点するために、 必要な基礎力を段階的に築く。 集中力を維持しつつ、コツをつかんで正答率を上げていく。 【文法の復習&語彙/リーディング Part5&6】 基礎的な文法知識だけを用いて解ける問題を確実に正解できるようにするため、文法のポイント、単語の結びつきや文脈をチェックし、解答時間の短縮が図れるよう攻略を身に付ける。 【長文に慣れる/リスニング Part3&4/リーディング Part7】 スピード対応能力(速い英語が聞ける、速く読める)を養うため リスニングの後、スクリプトを音読する。 リーディングもリスニング同様、内容を日本語に置き換えるのではなく、頭の中でイメージし英語を英語で理解できるようにする。				
成績評価 方法	評価試験は小テスト（30%）、期末テスト（70%）とする。				
成績評価 基準	A：評価試験（理解度）80%以上、出席率 80%以上、平常点　優 B：評価試験（理解度）60%以上、出席率 70%以上、平常点　良 C：評価試験（理解度）40%以上、出席率 60%以上、平常点　可 D：評価試験（理解度）40%未満、出席率 60%未満、平常点　不可				

学生へのメッセージ

中学、高校の時、英語が苦手でも基礎からやり直せば大丈夫です。もちろん時間はかかりますが、目標に向かって真剣に 取り組んでみましょう！

シラバス（授業計画）

科目名	TOEIC 対策Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	1 年　前期・後期	単位数	前期 ： 3 単位 後期 ： 3 単位	時間数	前期 ： 45 時間 後期 ： 45 時間
担当	岡野恵美子				
	実務経験 ： 有 ・ [無]				
授業概要	航空業界で要求される TOEIC スコアになるべく早く到達することを目標とします。まずスコア獲得に必要な頻出文法を復習し、TOEIC テスト必須の語彙を増やします。そして出題内容に即した演習を数多くこなしながら、各パートの解答のコツを習得していきます。				
到達目標	TOEIC スコア　ｴｱﾎﾟｰﾄｻｰﾋﾞｽｺｰｽ 500 点以上・ｶｰｺﾞｺｰｽ 400 点以上				
検定資格	なし ・ [必修] ・ 任意　　名称: TOEIC				
教科書 教材	TOEIC L&R テスト書き込みドリル「スコア 500 全パート入門編」新形式問題対応　桐原書店 TOEIC　L&R　公式ボキャブラリーブック （IIBC）				
授業計画	【リーディング Part5&6 対策】 テキスト及び公式問題集を中心とした問題演習 頻出単語やフレーズの学習、プリントを使用した基本文法復習 【リーディング Part7 対策】 テキスト及び公式問題集を中心とした長文テーマ別の演習 【リスニング Part1&2 対策】 テキスト及び公式問題集を使用した写真問題、応答問題の演習 【リスニング Part3&4 対策】 テキスト及び公式問題集を使用した会話文、説明文の問題演習				
成績評価 方法	毎週のチェックテストに加え、TOEIC 受験直前には模擬試験を実施し、平常点に加点します。また学期末には評価試験を行い、出席率、TOEIC スコアと共に総合的に判断します。				
成績評価 基準	A：評価試験（理解度）80%以上、出席率 80%以上、平常点　優 B：評価試験（理解度）60%以上、出席率 70%以上、平常点　良 C：評価試験（理解度）40%以上、出席率 60%以上、平常点　可 D：評価試験（理解度）40%未満、出席率 60%未満、平常点　不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	Ideas & Opinions Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース			授業形式	講義・演習
実施期	1 年 前期・後期	単位数	前期 ： 1 単位 後期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 15 時間 後期 ： 30 時間
担当	担当講師				
	実務経験 ： 有 ・ 無				
授業概要	21世紀に入り、ビジネスの世界ではプリゼンテーションの重要性が近年ますます高まってきています。学生が高い関心を持つトピックを選び、(、喫煙・飲酒、携帯電話、結婚など) それぞれの論点を把握、それに関する英語表現を学びコミュニケーション能力を高める				
到達目標	国際共通語である英語で、自己表現と、議論ができるようになることを目的とする。 学内の Speech Contest の際に上位入賞を目指す。(実績としては優勝、準優勝など)				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	Which side are you on?　成美堂				
授業計画	【Cell phone/ life style】 Reading →論点を見つける→Pros & Cons →議論の手法を学ぶ→ 発展応用練習 【Should we marry earlier or later】 Reading →論点を見つける→Pros & Cons →議論の手法を学ぶ→ 発展応用練習 【Limit traffic in the city centers?/Should both parents work?】 Reading →論点を見つける→Pros & Cons →議論の手法を学ぶ→発展応用練習 【Should develop computer skills?/Should we continue to develop human cloning technology?】 Reading →論点を見つける→Pros & Cons →議論の手法を学ぶ→発展応用練習				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点　優 B：評価試験(理解度)70%以上、出席率 80%以上、平常点　良 C：評価試験(理解度)60%以上、出席率 60%以上、平常点　可 D：評価試験(理解度)60%未満、出席率 60%未満、平常点　不可				

学生へのメッセージ

What matters most is to express why you think!!

シラバス(授業計画)

科目名	英語基礎文法Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートサービスコース			授業形式	講義
実施期	1 年 前期・後期	単位数	前期 : 1 単位 後期 : 2 単位	時間数	前期 : 15 時間 後期 : 30 時間
担当	眞舘 尚子				
	実務経験 : 有 ・ 無				
授業概要	TOEIC や英会話で活用できる英文法の基礎をしっかりと理解できるように解説をしていきます。また、解説と同時に TOEIC で通用する問題を解いていくことで TOEIC の得点アップを目指していきます。				
到達目標	基礎的な英文法をしっかりと理解し、TOEIC や英会話に応用できるようになる。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	TOEIC テスト英文法をひとつひとつわかりやすく				
授業計画	【品詞】 ・それぞれの品詞の役割を理解する 【時制】 ・現在形、過去形、未来形、完了形それぞれの特徴と意味を理解する 【分詞】 ・分詞の特徴と意味を理解する 【受動態】 ・受動態の構成と使い方を理解する 【不定詞と動名詞】 ・それぞれの構成と意味、違いを理解する。 【まとめ】 ・実際の問題を通して、理解を深める				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A:評価試験(理解度)80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B:評価試験(理解度)70%以上、出席率 80%以上、平常点良 C:評価試験(理解度)50%以上、出席率 60%以上、平常点可 D:評価試験(理解度)50%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

第二言語として英語を理解し話すためには文法を理解することは欠かす事ができません。 TOEIC の得点アップと英会話をスムーズにできるように英文法の基礎がためを一緒に頑張っていきましょう。

シラバス（授業計画）

科目名	手話講座Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	1 年　前期・後期	単位数	前期 ： 1 単位 後期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 15 時間 後期 ： 15 時間
担当	藤田敦子				
	実務経験 ： 有 ・ 無	江戸川区登録手話通訳者			
授業概要	ユニバーサルサービスとして接客における手話を身に着ける。前期は聴覚障害者概要の講義と6・5級の単語学習を中心におこない、後期は聴覚障がいをお持ちのお客様に対して手話でのコミュニケーションがとれるようロールプレイ等をおこなう。				
到達目標	1年次においては手話検定 5 級レベルを目指す。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:手話技能検定 5 級				
教科書 教材	手話技能検定公式ﾃｷｽﾄ5・6・7級（日本能率協会マネジメントセンター）				
授業計画	【日常生活で必要な基本を学習Ⅰ】 あいさつ・天候・疑問・数字・日にち・時間・家族・色・方角・感情・動作・自然・仕事などを学習する。 【日常生活で必要な基本を学習Ⅱ】 食べ物・動物・スポーツ・趣味・乗り物・形容詞・接客手話などを学習する。 【日常生活で必要な基本を学習Ⅲ】 接客で使う手話や検定対策に向けて過去問題の学習を行う。 【聴覚障害概要の学習】 手話とは・聴覚障害者とは・聴覚障害者数・身体障害者手帳（身体障害者等級）・聴覚障害者のコミュニケーション方法・合理的配慮・手話言語条例・強みと弱み・ろう文化・聴覚障害者の余暇活動など				
成績評価 方法	授業内におこなう実技試験と期末試験、出席率、授業態度を総合的に評価します。				
成績評価 基準	A:評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、平常点優 B:評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C:評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D:評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	中国語Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期 ： 1単位 後期 ： 1単位	時間数	前期 ： 30時間 後期 ： 30時間
担当	張翼飛				
	実務経験 ： 有 ・ 無				
授業概要	この授業ははじめて中国語を学習する学生を対象とする。発音の習得を重視しつつ、簡単な語彙や表現を身につけることを目指す、初歩的な中国語でコミュニケーション。				
到達目標	まず中国語の基本発音からスタートする、ピンインを読んで発音できる、それから日常によく使われる会話を話せるように、繰り返し練習ことによって身につける。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称：中国語検定試験				
教科書 教材	中国語初歩の初歩（高橋書店）				
授業計画	【中国語の概要】 中国語のピンインと四声の練習 名前を中国語で言ってみましょう 出会いと別れの言葉 返事と呼びかけ 【基本文法】 動詞述語文を学習 形容詞述語文を学習 名詞述語文を学習 文の組み立て方 【基本表現】 数字の数え方 日付と曜日の言い方 お金の単位と言い方 【テストと復習】				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験（理解度）80%以上、出席率 80%以上、平常点　優 B：評価試験（理解度）70%以上、出席率 70%以上、平常点　良 C：評価試験（理解度）40%以上、出席率 60%以上、平常点　可 D：評価試験（理解度）40%未満、出席率 60%未満、平常点　不可				

学生へのメッセージ

中国語を習得してから、日常生活楽しいこともひとつ増えますし、航空業界への就職に断然有利です。ぜひ中国語授業を楽しんでください。

シラバス(授業計画)

科目名	韓国語 Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	1 年 前期・後期	単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数	前期 : 30 時間 後期 : 30 時間
担当	渡部 茂				
	実務経験 : 有 ・ 無				
授業概要	対面形式の教科書を中心にして、文字から発話までの 2 年次に繋がる一連の約束事の基礎固めの学習をする。				
到達目標	日常生活上の動作性動詞の活用形 を反復練習することで、四つのバランス 即ち 「聞く・話す・読む・書く」 の場面に即した、簡単な韓国語会話が出来るようになること。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称: ハングル検定 (日本主催)、 韓国語能力試験 (韓国主催)				
教科書 教材	「日本語式から学ぶ韓国語概説 」　渡部 茂 著				
授業計画	01. 簡単な日常会話と旅行会話 一日の行動の基本的な会話、日常生活の多頻度の動詞 (コロケーション) 02. 文字と発音のルール 韓国語とは、文字の枠組み、連音化と有声音化、鼻音化、流音化、濃音化、激音化、口蓋音化、頭音法則 長母音と短母音 03. 数詞と助数詞、序数詞 漢数詞、固有数詞、曜日、時間時計、お金の計算等 04. 指示代名詞と疑問詞 これ・それ・あれ・どれ、 5W-1H (いつ・誰が・何を・どこで・幾ら)等 05. 助詞 一音節 (は・が・を・に・も・で)、二音節 (まで・でも・しか・より・から・すら) 06. 用言の活用形 指定詞 (～です・～ます)、存在詞 (あります・います)、否定表現 (行かない・行けない) 連体形 (現在・過去・未来・回想過去)、連用形 (～てみる、～ておく、～てしまう 等の ～て表現) 使役形・受身形 (れる・られる) 07. 待遇表現 下称形・中称形・上称形、 禁止形・婉曲表現、尊敬の補助語幹 (お～・御～表現) 08. 依存名詞 ～こと・～もの・～はず・～だけ・～のみ 等の適切な表現 09. 韓国漢字語 日本漢字音と韓国漢字音の比較対照(時系列的な音韻の変化) 漢字文化圏の共通音韻 10. 擬態語・擬声語 (オノマトペ) と 接頭辞と接尾辞 キラキラ・ガヤガヤ・キョロキョロ・スイスイ・ズキズキ 等 11. 文化的なもの 親族の名称・朝鮮半島略図・東アジア歴史年表・般若心経 (漢字語学習) 等 ※授業内の各単元演習小テスト実施				
成績評価 方法	出席の状況、並びに積極的な授業参加への意欲・姿勢等				
成績評価 基準	A: 出席率 80%以上、 評価試験 (理解度) 80%以上、 B: 出席率 70%以上、 評価試験 (理解度) 70%以上、 C: 出席率 60%以上、 評価試験 (理解度) 60%以上、 D: 出席率 60%未満、 期末試験 受験不可				

学生へのメッセージ

中高 6 年間で学習してきた英語の授業方法を振り返り、偏差値獲得の為の例文の丸暗記学習ではなく、自分の言葉で組み立てながら、実践的に「使える韓国語」の獲得を目指すものである。この授業を通して外国語の勉強法を再確認し、もう一度英語の勉強にフィードバックして欲しい。その為には継続して授業に参加することが望ましい。

シラバス（授業計画）

科目名	エアライン概要Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース			授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期 ： 1単位 後期 ： 1単位	時間数	前期 ： 15時間 後期 ： 15時間
担当	担当講師				
	実務経験 ： 有 ・ 無	エアライン業界にて地上職及び客室乗務員として実務経験あり。			
授業概要	**エアライン業界の現状を知ることが目的の講座**です。 **【Ⅰ・前期】** 航空業界の基礎知識を学習する。 学んだ知識を基に、グループ毎にテーマに沿ったプレゼンテーションを行う。 **【Ⅱ・後期】** 課題を通して業界の変わりゆく現状を理解・把握した上で、就職活動につなげていく。 興味を持ったエアライン業界のニュース（業界の最新情報）について調べ、要約し考察して発表する。				
到達目標	○エアライン業界の基礎知識を習得し、最新情報を理解し、業界の現状を把握する。 ○グループワークを通して知識を定着させ、コミュニケーション力と協調性を体得する。 ○課題を通して就職活動に必要な企業研究の進め方を身に付け、自分の意見をまとめる力を培う。 ○発表・質疑応答を通して、社会人として必要な言葉遣いや文章構成力・伝わる話し方を身に付ける。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	適宜プリント配布				
授業計画	**【航空業界基礎知識 （Ⅰ・前期)】** ○コロナ前とコロナ後の航空業界の現状 ○日本に乗り入れている外資系航空会社と日系航空会社 ○レガシーキャリア / LCC / 新興航空会社 ○成田・羽田とその他の国内外の主要空港について ○「ポイント to ポイント」 と「ハブ and スポーク」 ○アライアンス ○マイレージプログラム ○航空機メーカーと主要機種　（順序不同） **【グループワーク: プレゼンテーション （Ⅰ・前期)】** 基礎知識として学習した内容を基に、グループ毎にテーマに沿ったプレゼンテーションの準備をし、発表する。 **【ニュースサマリーと発表 （Ⅱ・後期)】** 課題として、毎週各自が興味を持った業界ニュースを1つ選び、調べ、要約、考察したものをノートにまとめる。 授業では、まとめた内容を希望者が発表する。質疑応答で答えられなかった件は、再課題として次回までに調べて発表する。 発表者・質問者共に講師からフィードバックを受ける。				
成績評価 方法	**【前期】** 期末試験・出席状況・プレゼンテーション及びグループワークへの貢献度・授業参加意欲などを総合評価して判断する。 プレゼンテーションを欠席した場合は、平常点（100点満点）から50点をマイナスする。 **【後期】** 期末試験・出席状況・課題提出回数及びその内容・発表回数及びその内容・授業参加意欲を総合評価し判断する。 期末試験前（10週目頃）に、中間試験の代わりとして一度課題ノートを提出する。 課題の未提出/指定した回数に満たない場合は、例外なく不認定とする。				
成績評価 基準	A: 評価試験（理解度）90%以上、 出席率 90%以上、 平常点（授業参加意欲） 秀・優 B: 評価試験（理解度）80%以上、 出席率 80%以上、 平常点（授業参加意欲） 良 C: 評価試験（理解度）70%以上、 出席率 70%以上、 平常点（授業参加意欲） 可 D: 評価試験（理解度）70%未満、 出席率 70%未満、 平常点（授業参加意欲） 不良				

学生へのメッセージ

現実的な「就職先」としてのエアライン業界の現状を理解するための授業です

シラバス（授業計画）

科目名	業界ガイド			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	1 年　前期	単位数	前期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 15 時間
担当	担当講師				
	実務経験 ： 有 ・ 無	エアライン業界にて地上職及び客室乗務員として実務経験あり。			
授業概要	航空業界へのガイダンスとして、基本的な事柄を幅広く理解することが目的の講座です。 「誰が」「何のために」「どこで」「何を」しているのかを具体的に学び、それらの職種や業種の相関関係を理解していきます。				
到達目標	○空港内外の主な職種や業種について学び、航空業界に関する理解を深める ○具体的な業務内容を学び、就職活動への足掛かりとする				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	適宜プリント配布				
授業計画	① 導入 ：【授業の目的と進め方】 ②【航空業界のコロナ前とコロナ後について】 ③【パッセンジャーハンドリング】　グランドスタッフ業務一般 （チェックイン ・ ゲート・アテンド ・ バゲッジクレーム ・ トランジットなど） センディング ・ インフォメーション ・キャビンアテンダント 免税店などの物品販売 ・ セキュリティー　（順序不同） ④【グランドハンドリング】　シップサイドランプ業務 （マーシャリング ・ トーイング／プッシュバック ・ ローディングなど） ⑤【エアカーゴ】　貿易実務（ドキュメンテーション） ハンドリング 通関士				
成績評価 方法	評価試験・出席状況・平常点(授業参加意欲)を総合評価して判断する。				
成績評価 基準	A ： 評価試験（理解度・貢献度）90%以上、 出席率 90%以上、 平常点　秀・優 B ： 評価試験（理解度・貢献度）80%以上、 出席率 80%以上、 平常点　良 C ： 評価試験（理解度・貢献度）70%以上、 出席率 70%以上、 平常点　可 D ： 評価試験（理解度・貢献度）70%未満、 出席率 70%未満、 平常点　不可				

学生へのメッセージ

航空業界の基礎の基礎。 コレを知らずに就職活動は始められません！

シラバス（授業計画）

科目名	空港旅客サービス入門			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートサービスコース			授業形式	演習
実施期	1 年　前期	単位数	前期 ： 2 単位	時間数	前期 ： 30 時間
担当	松本　多英美				
	実務経験 ： [有] ・ 無	エアライン業界にてグランドスタッフとして 6 年間の実務経験あり。			
授業概要	空港で働くために必要な基礎知識と業務内容について学習します。就職希望者が多いグランドスタッフの仕事を主とし、空港の仕事内容について学びます。空港勤務に必要な基礎知識を身に付けることで、航空業界への理解を深めます。				
到達目標	この授業を通し、「空港への憧れ」から「空港で働く」意識につなげます。知識だけでなく心の持ち方においても空港で活躍するための基盤をつくります。				
検定資格	[なし] ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	【空港での仕事】 空港での仕事について 【グランドスタッフの業務 】 グランドスタッフの仕事内容 搭乗手続き～搭乗ゲートまで 旅客の流れとスタッフの流れ 【航空業界の基礎知識】 空港の基礎知識 国内空港と 3 レターコード 海外空港と 3 レターコード 航空会社と 2 レターコード PHONETIC ALPHABET 【国内空港 PR ポスター作成】 グループワーク				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80 点以上かつ出席率 80%以上、 平常点　優 B：評価試験 70 点以上かつ出席率 70%以上、 平常点　良 C：評価試験 50 点以上かつ出席率 60%以上　 平常点　可 D：評価試験 50 点未満、　出席率 60%未満、 平常点　不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	カウンター実技演習Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートサービスコース			授業形式	演習
実施期	1 年　前期・後期	単位数	前期 ： 1 単位 後期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 15 時間 後期 ： 15 時間
担当	湊 さやか				
	実務経験 ： 有 ・ 無	エアライン業界にて客室乗務員として 7 年間の実務経験あり。			
授業概要	空港のグランドスタッフとして働くための接客技術を基礎から学びます。カウンターモックアップを使用したロールプレイを中心に、チェックイン業務と搭乗ゲート業務の流れと動作を習得します。後期はキャビンアテンダントコースとの合同授業となり、11 月の中村学園祭で発表するシミュレーションフライトに向けて、繰り返し実技練習を行います。				
到達目標	空港接客にふさわしい所作と言葉遣いで、グランドスタッフのチェックイン業務と搭乗ゲート　業務を行うことが出来る。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	なし（プリント配布）				
授業計画	【立居振舞】 姿勢・お辞儀・笑顔・視線 スカーフの結び方 【実技演習】 チェックイン業務　読み合わせ チェックイン業務　実践 搭乗アナウンス　読み合わせ/実践 搭乗ゲート業務　動作確認/実践 通し練習/実技テスト 【シミュレーションフライト練習】 チーム分け、役割分担、流れの確認 チームごとに通し練習 本番を想定したリハーサル 【シミュレーションフライト発表】 学園祭での発表				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験（理解度）90%以上、出席率 100%以上、平常点優 B：評価試験（理解度）80%以上、出席率 80%以上、平常点良 C：評価試験（理解度）70%以上、出席率 60%以上、平常点可 D：評価試験（理解度）70%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	メイクアップ講座			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース			授業形式	演習
実施期	1 年 前期	単位数	前期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 15 時間
担当	秋元幸子				
	実務経験 ： 有 ・ 無	美容業界にて実務経験あり。			
授業概要	自身の美しさを最大に引き出すメイクアップ理論と技術を基本から学びます。更に、長時間の撮影にも崩れず美しさをキープする女優メイクのプロ技術や裏ワザを修得することができます。カラーコーディネートや TPO に合わせたメイク、リクルートメイクとヘアも学びます。				
到達目標	基本のメイクアップ理論と技術の取得で、自身の美しさを引き出し、自信をもってリクルートメイクとヘアを完成できるレベルになる。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	【メイクアップ理論 1/メイクアップ理論 2/スキンケア 1/スキンケア 2】 メイクアップの目的と意義 光と色、カラーコーディネート お肌と心と体の関係性、デドックス等 基礎化粧品の使用法と効果とお手入れ方法 【クレンジング/ベースメイクアップ技術 1/ベースメイクアップ技術 2/ベースメイクアップ技術 3】 ポイントクレンジングと全体クレンジングのプロセス ベースメイクアッププロセスと基本の指使い コントロールカラー、ファンデーション、ハイライト フェイスパウダー等使用法復習 【メイクアップのポイントとカラーコーディネート】 眉の描き方、アイホールの確認、アイシャドウ、チーク、リップ 美しい肌作り、まつげカール、シェーディング 【メイクアップのポイント/TPO に合わせたメイクアップ 1/TPO に合わせたメイクアップ 2】 冠婚葬祭、日常のシーンでのメイクアップ まとめ 【リクルートメイク、ヘア 1/リクルートメイク、ヘア 2/リクルートメイク、ヘアの完成】 リクルートメイク、ヘアの理論と実習 リクルートメイク、ヘアの実習 リクルートメイク、ヘアを完成し、作品公表と評価 【授業全体のまとめ】 まとめとテスト				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験（理解度）90%以上、出席率 100%以上、平常点　優 B：評価試験（理解度）80%以上、出席率 80%以上、平常点　良 C：評価試験（理解度）60%以上、出席率 60%以上、平常点　可 D：評価試験（理解度）60%未満、出席率 60%未満、平常点　不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	ワールドディスティネーションズⅠ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	1 年　前期・後期	単位数	前期 ： 1 単位 後期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 15 時間 後期 ： 15 時間
担当	担当講師　石松				
	実務経験 ： [有] ・ 無	旅行業界にて旅程管理実務経験あり。			
授業概要	みなさんが本校で学ぶ科目の多くは、世界地理の知識を必要とします。 2年間を通しての本科目の目的は、大きく分けて以下の 3 つです。 ① 世界の主だった渡航先や輸出入が行なわれる国々について幅広く学び、基本的な知識を身に着ける ② アマデウスやディプロマ等、他科目の学習の手助けとなる ③ 世界の国や地域の事情について考察できるようになる 1 年次：概論（地図の把握／世界の主要な国・首都・空港所在地の把握／代表的な観光資源・文化および輸入品） 2年次：各論 また、授業内容に関連しそうなニュースがあれば、その週のトピックスとして取り上げます。 なお、授業の目的及び性質上、観光英検などの受検対策と目的とするものではありません。				
到達目標	1 年次：緯度経度とそれに関連する事項について理解し、考察することができる。世界のエリア、主要な国や地域、都市、空港所在地を地図上で把握することができる。各地の特徴を大まかに把握することができる。				
検定資格	[なし] ・ 必修 ・ 任意　　名称：				
教科書 教材	旅に出たくなる地図 世界 （帝国書院） 世界白地図 （JTB 総合研究所） プリント適宜配布				
授業計画	【 学びの目的 】 授業の目的について説明 【 地図の把握 】 投影法の種類と目的 ／ 緯度・経度（気候と時差） ／ 大陸と地域 【 国・地域の基本情報 】 アジア ／ 中東 ／ ヨーロッパ ／ アフリカ ／ 北米 ／中南米 ／ オセアニア 代表的な国や地域の基本情報（首都、時差、通貨、言語、宗教等）、主要空港がある都市、その地の特徴（代表的な観光資源、事情、輸入品等）。小テストを実施する。 【期末試験と解説】 期末試験 ／ 解説　各期 2 時間ずつ計 4 時間 【研修旅行に向けて】 渡航先について学ぶ（前期） 履修内容・順番は変更される場合があります。				
成績評価 方法	出席率、授業態度、意欲、評価試験				
成績評価 基準	A：評価試験（理解度）80%以上、かつ出席率 80%以上、かつ平常点　優 B：評価試験（理解度）60%以上、または出席率 70%以上、または平常点　良 C：評価試験（理解度）40%以上、または出席率 60%以上、または平常点　可 D：評価試験（理解度）40%未満　または　出席率 60%未満　または　平常点　不可				

学生へのメッセージ

“ディスティネーションズ Destinations”とは、「旅行などの目的地」という意味です。 航空会社や空港、貨物等、国際的なものに関わって活躍しようとする皆さんにとって、世界の地勢や国々に関する基本的な情報は必須です。 机の上で、一緒に世界の旅に出ながら、知識を深めましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	アマデウスⅠ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	1 年 前期・後期	単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間 後期 : 15 時間
担当	湊 さやか/桒原 和希				
	実務経験 : 有 ・ 無	湊:エアライン業界にて客室乗務員として 7 年間の実務経験あり。 桒原:物流関連企業にて 17 年の実務経験あり。			
授業概要	アマデウスは GDS(Global Distribution System)として、全世界の航空会社や旅行会社にとって航空券やホテルなどを手配するための必要不可欠なシステムとなっています。アマデウスの国際線予約基本操作を習得し、アマデウスシステム検定試験 Specialist 資格取得を目指します。				
到達目標	①アマデウスシステムでの予約記録が作成できること。 ②アマデウスシステム検定試験 Specialist 資格の取得。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称: アマデウスシステム検定試験				
教科書 教材	Amadeus 予約ユーザーガイド (最新版) アマデウス予約クイックガイド				
授業計画	【各種コード検索/空席照会/空席照会からの予約】 都市・空港・航空会社コードの検索 空席照会オプション、ショートカット、2 区間の空席照会 予約方法、ステータス(予約)コードを理解する 乗継ぎ便・取消待の予約方法、ｵｰﾌﾟﾝｾｸﾞﾒﾝﾄ、ARNK を理解する 【予約記録 PNR 作成】 基本 PNR の入力必須項目と抽出を理解する PNR の作成(複数人の名前入力)が出来るようにする PNR の作成(INF・CHD の名前入力)が出来るようにする 【SSR 入力/座席のリクエスト/旅程の取消・変更】 SSR の入力、座席リクエストなどが出来るようにする PNR を取り出し、取消・変更などができるようにする 【過去問練習】 過去問練習・解説				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A:評価試験(理解度)80%以上、出席率 90%以上、平常点　優 B:評価試験(理解度)70%以上、出席率 80%以上、平常点　良 C:評価試験(理解度)40%以上、出席率 60%以上、平常点　可 D:評価試験(理解度)40%未満、出席率 60%未満、平常点　不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	エクササイズⅠ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	1 年　前期・後期	単位数	前期 ： 2 単位 後期 ： 2 単位	時間数	前期 ： 30 時間 後期 ： 30 時間
担当	北原　大輔				
	実務経験 ： 有 ・ 無	スポーツインストラクターとして実務経験あり。			
授業概要	健康維持増進のために日頃から身体を動かしておくことは必要不可欠なことであり、また、身体運動量が比較的高い職業においては、高い体力レベルを保持しておくことが望ましいと言えます。 基本的な運動を通じて精神力と敏捷性、持久性、平衡性など、はつらつとした身体をつくります。また、球技スポーツの体験を通して、健康および体力の向上を図るとともに、運動習慣を体得し、生涯に渡り運動・スポーツを実践できるようになることを目指します。加えて、コミュニケーション能力とリスペクトの精神を養うことで、社会人として必要とされる他者と協働する力を鍛えます。				
到達目標	健康づくりのための身体活動基準以上の運動・スポーツの実践 体力向上のための定期的なトレーニングの実践（自己目標の設定）				
検定資格	なし				
教科書教材	必要に応じてプリント配布				
授業計画	【健康と体力/筋トレⅠ/「投げる」球技スポーツ/ウォーキング、ランニング】 「健康」，体力」，「健康と体力の関係」について学ぶ 筋トレ、器具の使い方や効果について バスケットボールなど（競技特性・ルールの理解と実践） ウォーキング、ランニングの正しいやり方と効用 【ストレッチング/持久力トレーニング】 ストレッチングの意義と実践 持久力トレーニングの意義と実践（持続性トレーニング） 【筋トレⅡ/球技スポーツ/運動と安全/体力の測定と評価】 前期より負荷を挙げて筋力アップを図る 傷害の理解と予防 形態計測，筋力測定，運動能力テストの実施と評価				
成績評価方法	※平常点は、授業への参加度や授業態度などを加味して 20 点満点とし、 上記評価点数に組み込まれる。				
成績評価基準	A：授業内期末試験　70 点以上、出席率 90%以上、平常点 15 点以上　優 B：授業内期末試験　50 点以上、出席率 60%以上、平常点 10 点以上　良 C：授業内期末試験　30 点以上、出席率 60%以上、平常点 5 点以上　可 D：授業内期末試験　30 点未満、出席率 60%未満、平常点 5 点未満　不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	Airline English Ⅰ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	1 年　後期	単位数	後期 ： 1 単位	時間数	後期 ： 15 時間
担当	語学担当講師				
	実務経験 ： 有 ・ 無				
授業概要	前期の Let’s Speak English で習得したコミュニケーションスキルを、「仕事で使える英語」に繋げていきます。航空業界で働く際に遭遇する場面での「使えるフレーズ」を覚えることで、英語での対応能力を養います。シンプルなキーセンテンスを応用して使えるように、会話、リスニング、アクティビティを通して反復練習をしていきます。				
到達目標	テキスト Airline English Ⅰ の Conversation を暗記し、グランドスタッフのパートを、テキストを見ないでスムーズに会話することが出来る。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	オリジナルテキスト				
授業計画	【チェックイン業務で使う英語①】 ・航空券の提示 ・パスポートの提示 ・パスポートの有効期限 【チェックイン業務で使う英語②】 ・受託手荷物 ・手荷物の重量制限 ・シートアサイン 【チェックイン業務で使う英語③】 ・搭乗券を渡す ・搭乗時刻の案内 ・フライトの遅延 ・フライトのキャンセル 【復習/会話テスト】 ・復習 ・1 人ずつ会話テストを実施				
成績評価 方法	評価試験は会話テストを実施し、出席率・授業態度と総合して評価します。				
成績評価 基準	A：評価試験（理解度）80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B：評価試験（理解度）60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C：評価試験（理解度）50%以上、出席率 60%以上、平常点可 D：評価試験（理解度）49%以下、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	パソコンスキル Ⅰ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	1 年　後期	単位数	後期 ： 1 単位	時間数	後期 ： 15 時間
担当	宮﨑　愛子				
	実務経験 ： 有 ・ 無	パソコン講師として実務経験あり。			
授業概要	現代社会において、仕事上 PC 操作は必須です。1 年時の学習を踏まえて実践力を習得する。ワードではビジネス文書作成、エクセルでは基本関数およびグラフによるデータの視覚化とデータ分析力を修得する。また、パワーポイント操作ではプレゼンテーション資料の作成を修得する。				
到達目標	ワード・エクセルを含めたPC操作の基本を理解し、ビジネス文章の作成や、データからグラフ作成・データベース操作、パワーポイントを利用したプレゼンテーション資料が作成できるようにする。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称: 日本語ワープロ検定・マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)検定				
教科書 教材	なし（適宜プリントを使用します）				
授業計画	【PC基本操作の確認】 前期に学習したキーボードを利用しての入力練習(英数字・かな・漢字変換・文字の修正)、ワープロソフトを使い文章入力を復習する。 ホームポジションを意識した入力を実施する。 【ワード基本作業】 文章入力練習を行う。 ワードアート・図形描画を利用した表現力のある文書作成を行う。 ビジネス文書の基礎や仕組みを学び、手書き問題からビジネス文書を作成する。（表作成含む） 【エクセル基本作業】 データ入力の基本を学ぶ。 データ入力の基本を理解し、関数を利用した表計算機能やデータベース操作を学習する。 データを利用してグラフ作成を行い、視覚的分析力の方法を学ぶ。				
成績評価 方法	※平常点は、授業への参加度や授業態度などを加味して 20 点満点とし、上記評価点数に組み込まれる。 ※ワード、エクセル共に、文書作成を課題として提出する。				
成績評価 基準	A：評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、課題提出、平常点 15 点以上優 B：評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、課題提出、平常点 10 点以上良 C：評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、課題提出、平常点 5 点以上可 D：評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、課題未提出、平常点 5 点未満不可				

学生へのメッセージ

ワープロ、表計算、プレゼンソフトでは入力速度も必要となるので、日頃から入力練習をしておくことが望ましい。

シラバス（授業計画）

科目名	エアライン受験対策Ⅰ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	1年 後期	単位数	後期 ： 1単位	時間数	後期 ： 15時間
担当	担当講師				
	実務経験 ： 有 ・ 無	エアライン業界にて地上職及び客室乗務員として実務経験あり。			
授業概要	エアライン業界独特の面接試験に重点を置いた受験対策講座です。 【講義】自己分析と企業研究の重要性及びその方法を学習した後、各自でその作業を進める。順次自己PRと志望動機を作成していきます。（企業の面接時期に合わせて逐次個別に対応していきます）。 面接試験の目的や流れ・具体的なチェックポイントや基本的な言葉遣いを学習します。 【演習】模擬面接や質疑応答の反復練習とフィードバックを繰り返し、表情や視線・立ち居振る舞い等の実践的なスキルを体得していきます。				
到達目標	○就職活動の軸である「自己分析と企業研究」の重要性と必要性を理解し、各自が適時進められるようにする。 ○人から見られる事や緊張する事に慣れ、面接試験本番においてより適切な第一印象を残せるようにする。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	適宜プリント配布				
授業計画	① 授業の目的と進め方の説明　就職活動とは ② 自己分析と企業研究について　重要性/必要性と、進め方 ③ 面接試験の目的と流れ　入室 ～ 退室まで・具体的な質問内容とその意図 ④ 第一印象とチェックポイント　みだしなみ・表情・視線・立ち居振る舞い（立ち方・歩き方・座り方・お辞儀等）メラビアンの法則を参照 ⑤ 言葉遣いと話し方　敬語の使い方 ・ 声の大きさ／強さ／トーン ・ 話すスピードなど ⑥ オンライン面接について　注意点（対面式との違い） ⑦ 模擬面接　反復練習 （チェックポイントの再確認 ・ フィードバック） 【適宜個別対応】　自己分析・企業研究・自己PR・志望動機など				
成績評価 方法	評価試験（講義内容の理解度/自己PR・志望動機の進捗状況）・出席状況・授業参加意欲（平常点）で総合評価				
成績評価 基準	A ： 評価試験（理解度・進捗状況）90%以上、 出席率90%以上、 平常点 秀・優 B ： 評価試験（理解度・進捗状況）80%以上、 出席率80%以上、 平常点 良 C ： 評価試験（理解度・進捗状況）70%以上、 出席率70%以上、 平常点 可 D ： 評価試験（理解度・進捗状況）70%未満、 出席率70%未満、 平常点 不可				

学生へのメッセージ

最初は緊張して当たり前です。 大切なのは実際に身体を動かしてやってみる事！ 繰り返し何度も何度も練習していく内に、いつの間にか身体が覚えていきます。 さぁ、背筋を伸ばして笑ってみましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	空港旅客サービス実務Ⅰ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートサービスコース			授業形式	講義
実施期	1年 後期	単位数	後期 : 2単位	時間数	後期 : 30時間
担当	松本 多英美				
	実務経験 : [有] ・ 無	エアライン業界にてグランドスタッフとして6年間の実務経験あり。			
授業概要	前期に引き続き、空港で働くために必要な専門知識や業務内容について学習します。 グランドスタッフが使用する専門用語を学び、空港現場で活用できるよう身に付けます。 航空系企業の企業セミナーを授業内で行い、受験企業の選択や企業研究等、就職活動に活かします。				
到達目標	前期も含め1年間で学ぶ内容をいかし、実際に空港で勤務する際に動じない即戦力を身に付けます。				
検定資格	[なし] ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	【空港基礎知識】 マルチエアポート パスポートについて E チケット、搭乗券、手荷物タグについて 【旅客ハンドリング用語と略語】 専門用語と略語、表記の仕方 【マイレージサービスとアライアンス】 マイレージサービスについて アライアンスとその特色 【特別なお客様】 制限旅客と特殊旅客について 特別なお客様のチェックイン 座席の特性 【航空業界の歴史】 グループワーク 【企業セミナー】				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A:評価試験80点以上かつ出席率80%以上、 平常点 優 B:評価試験70点以上かつ出席率70%以上、 平常点 良 C:評価試験50点以上かつ出席率60%以上 平常点 可 D:評価試験50点未満、 出席率60%未満、 平常点 不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	英語面接対策			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートサービスコース			授業形式	演習
実施期	1 年　後期	単位数	後期 ： 1 単位	時間数	後期 ： 15 時間
担当	担当講師				
	実務経験 ： 有 ・ 無	エアライン業界にて地上職及び客室乗務員として実務経験あり。			
授業概要	『英語を使ったコミュニケーション力』 を身につけ、簡単な英語面接に備えるための講座です。 英語学習が目的ではないので、敢えてテキストやプリントを使用せず、できる限り板書を行わず、「聞いて話す」事に重点を置いた授業です。 毎回授業の初めに、あらかじめ各自で作成した自己紹介文をウォーミングアップとして口に出して練習します。 自己紹介文の内容は、各自で推敲を重ね、講師の指導の下適宜更新していきます。 様々な場面設定で英語を話すペア（グループ）ワークを重ねていきます。				
到達目標	○間違いを恐れず、英語をコミュニケーションツールとして使える力を身につける ○英語面接において、各自の英語力を最大限に活かしたアピールができるようにする。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	○ 導入 ： 授業の目的と運営方法の説明 留学中に感じた事や学んだ事（コミュニケーションとは） ○ 英語面接試験での自己紹介 ： 特技や資格/学校での様子や好きな教科/興味がある事や頑張っている趣味 英語面接の目的 ： 日本企業の英語面接について（その特徴と傾向） 自己紹介文の作成 ： 辞書を使わず、今の自分の英語力に見合った自己紹介文を作成する ○ ペアワーク ：「ここまでどうやって来ましたか？」「どれくらいかかりましたか？」 「今朝は何を食べましたか？」「夕飯はどこで何を食べる予定ですか？」 「駅までの行き方を教えてください」「京都にはどうやって行けばよいですか？」 「冬休みの予定は何ですか？」「あなたの夢のバケーションは？」 etc ○グループワーク ： What if Qs “My best ～“ ”What‘s the title of this story？“				
成績評価 方法	評価試験・出席状況・平常点（授業参加意欲）の総合評価で判断する。				
成績評価 基準	A ： 評価試験 90%以上、 出席率 90%以上、 平常点 秀・優 B ： 評価試験 80%以上、 出席率 80%以上、 平常点 良 C ： 評価試験 70%以上、 出席率 70%以上、 平常点 可 D ： 評価試験 70%未満、 出席率 70%未満、 平常点 不可				

学生へのメッセージ

多くの日本企業が求めているのは、高い英語力ではありません。
特に接客業に関わる英語面接では、使い慣れない難しい単語や正確な文法よりも、「分かりたい・伝えたい」という態度や気持ちの方が重視されます。間違いを怖がって黙ってしまう、その沈黙こそが間違いです。もっと気楽に英語で話してみましょう！

シラバス(授業計画)

科目名	TOEIC 集中講座			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートサービスコース			授業形式	講義
実施期	1 年 後期	単位数	後期 : 2 単位	時間数	後期 : 30 時間
担当	日隈 敬子				
	実務経験 : 有 ・ [無]				
授業概要	文法や語彙を復習し TOEIC 模試を解くことで今まで身に付けた知識やスキルを正解に結びつけるようにする。				
到達目標	語彙力を高める。 時間配分を身に付ける。				
検定資格	なし ・ [必修] ・ 任意　　名称: TOEIC				
教科書 教材	プリント配布				
授業計画	【TOEIC 頻出語句をチェック】 問題文や選択肢に出てくる語句の中から重要な物を抜粋し 語彙力を高める。単語は授業内でゲームを通して確認する。 【リスニング】 英語を語順通り理解するために、リスニングのスクリプトを1分間に 100 語以上読めるようにする。 【問題演習】 毎回小テストを行い、問題傾向をおさえながら、解答のコツをつかむ。 【模試】 2 時間で 200 問を解くことに慣れるため、夏、冬の集中講座中に各 1 回模試を行う。 間違った問題を確認し、英語力や解答力を上げられるよう何度も復習する。				
成績評価 方法	毎日の小テスト 5 日分を評価試験とする。				
成績評価 基準	A:評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点　優 B:評価試験(理解度)60%以上、出席率 70%以上、平常点　良 C:評価試験(理解度)40%以上、出席率 60%以上、平常点　可 D:評価試験(理解度)40%未満、出席率 60%未満、平常点　不可				

学生へのメッセージ

長期休暇中の講座ですが、自発的に予習、復習をし、強い学習意欲をもって受講してください！

シラバス（授業計画）

科目名	TOEIC 集中講座			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートサービスコース			授業形式	講義
実施期	1 年　後期	単位数	後期 ： 2 単位	時間数	後期 ： 30 時間
担当	岡野恵美子				
	実務経験 ： 有 ・ 無				
授業概要	TOEIC テスト受験直前対策として、より実践的な問題を中心に演習を行います。リスニングセクション、リーディングセクション共に、各パートに対応する実力強化を目標とします。そして時間配分の重要性を確認しながら本番形式の模擬試験を実施し、確実なスコアアップを目指します。				
到達目標	TOEIC スコア 500 点以上				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称: TOEIC				
教科書 教材	プリント配布				
授業計画	【リーディング問題対策】 各種問題集を使用したリーディングパートの問題演習 【リスニング問題対策】 各種問題集を使用したリスニングパートの問題演習 【リーディング＆リスニング/模擬試験＆解説】 なるべく本番に近い環境で模擬試験を実施し、その解説を通じて弱点を把握する				
成績評価 方法	毎回の練習問題や模擬試験、そして学期末評価試験の結果に基づき、総合的に判断します。				
成績評価 基準	A：評価試験（理解度）80%以上、出席率 80%以上、平常点　優 B：評価試験（理解度）60%以上、出席率 70%以上、平常点　良 C：評価試験（理解度）40%以上、出席率 60%以上、平常点　可 D：評価試験（理解度）40%未満、出席率 60%未満、平常点　不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	Airport Study			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	1 年　後期	単位数	後期 ： 2 単位	時間数	後期 ： 30 時間
担当	各企業ご担当者様				
	実務経験 ： 有 ・ 無	エアライン企業現役社員が担当。			
授業概要	成田国際空港と羽田空港を実際に訪れ、航空関連企業様を見学させていただき、業務内容や現場を知る。成田国際空港と羽田空港でご活躍されている企業様より直接講義、説明、施設見学をしていただくことで、航空業界の現状を直に学ぶ。				
到達目標	航空業界の現状を直に学び、就職活動への意識向上を図る。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	【TOKYO GLOBAL GATEWAY】 英語「を」活用する「アトラクション・エリア」と英語「で」学ぶ「アクティブイマージョン・エリア」のプログラム体験 【成田国際空港企業訪問①】 1 社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） 1 社目：職場視察 2 社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） 2 社目：職場視察 【成田国際空港企業訪問②】 1 社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） 1 社目：職場視察 2 社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） 2 社目：職場視察 【羽田空港企業訪問①】 1 社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） 1 社目：職場視察 2 社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） 2 社目：職場視察 【羽田空港企業訪問②】 1 社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） 1 社目：職場視察 2 社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） 2 社目：職場視察				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験（理解度）80%以上、出席率 100%以上、平常点優 B：評価試験（理解度）70%以上、出席率 80%以上、平常点良 C：評価試験（理解度）60%以上、出席率 60%以上、平常点可 D：評価試験（理解度）60%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	海外語学研修			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	1 年 後期	単位数	後期 : 2 単位	時間数	後期 : 30 時間
担当	語学学校担当講師				
	実務経験 : 有 ・ [無]				
授業概要	①空港でのチェックイン、出入国の流れ、国際線における客室乗務員の業務など、座学で習得した知識を確認しながら実際に体験をする。 ②6 月に受験する第 1 回目の TOEIC から、9 月受験の第 2 回目に向けてスコアアップを目指し、TOEIC 対策授業を受講する。 ③海外生活を体験しながら英語コミュニケーションスキルを磨き、異文化を理解する。 ④寮(ホテル)での共同生活を通してクラスの団結を深める。				
到達目標	①TOEIC を 100 点以上スコアアップさせる。 ②完璧な英語を話せなくても、積極的にコミュニケーションをとることが出来る。				
検定資格	[なし] ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	現地語学学校指定教材				
授業計画	【1 日目】 Writing・Speaking 実践アクティビティ(校外) TOEIC 対策 【2 日目】 Reading・Speaking 実践アクティビティ(校外) TOEIC 対策 【3 日目】 Grammar・Speaking 実践アクティビティ(校外) TOEIC 対策 【4 日目】 Reading・Speaking 修了スピーチ準備 TOEIC 対策 【5 日目】 TOEIC 模試 卒業スピーチ				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A:評価試験(理解度)80%以上、出席率 100%以上、平常点優 B:評価試験(理解度)70%以上、出席率 95%以上、平常点良 C:評価試験(理解度)60%以上、出席率 90%以上、平常点可 D:評価試験(理解度)60%未満、出席率 90%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

エアポートカーゴコース

専門科目

シラバス(授業計画)

科目名	English Communication Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	1 年 前期・後期	単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数	前期 : 30 時間 後期 : 30 時間
担当	Native teacher				
	実務経験 : 有 ・ [無]				
授業概要	Students will improve their English communication skills with a variety of conversation, speaking and activity-based classes with a native English teacher.				
到達目標	Students will become used to interacting with a native English speaker, and learn a variety of English skills that they will be able to use in future at work and when travelling and studying abroad.				
検定資格	[なし] ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	Stretch Level 1 Student Book (Oxford)				
授業計画	前期 - Jobs - Daily Activities - At the Moment - Feelings - On the Weekend - Downtown 後期 - People we Admire - At the Supermarket - Health Problems - Cities - Music - Travel Plans				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A:評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、平常点 優 B:評価試験 70 点以上、出席率 80%以上、平常点 良 C:評価試験 60 点以上、出席率 60%以上、平常点 可 D:評価試験 60 点未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	TOEIC 対策Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	1 年　前期・後期	単位数	前期 ： 3 単位 後期 ： 3 単位	時間数	前期 ： 45 時間 後期 ： 45 時間
担当	日隈 敬子				
	実務経験 ： 有 ・ [無]				
授業概要	このクラスでは今まで習ってきた英語を復習し、TOEIC のための攻略法を身につけていきます。 しっかりとした目標を持ち、それに向かって努力すれば結果は必ずついてきます。 TOEIC の問題に慣れ、目標点が取れるよう頑張りましょう！				
到達目標	TOEIC のテスト形式や出題内容に慣れる。TOEIC の解答方法を身に付ける。 400 点以上を取れるようにする。				
検定資格	なし ・ [必修] ・ 任意　　名称: TOEIC				
教科書 教材	TOEIC L&R テスト　書き込みドリル「スコア 500 全パート入門編」　　桐原書店 TOEIC L&R 公式ボキャブラリーブック　ＩＩBC				
授業計画	各パートの出題形式を知り、解答手順、時間配分を確認する。 練習問題(50 問、30 分)や模試(200 問、2 時間)に取り組み、弱点をチェックし、重要点を押さえる。 単語は授業内でゲームを通して確認する。 【リスニング Part1&2】 最もスコアを上げやすいこのパートを確実に得点するために、 必要な基礎力を段階的に築く。 集中力を維持しつつ、コツをつかんで正答率を上げていく。 【文法の復習&語彙/リーディング Part5&6】 基礎的な文法知識だけを用いて解ける問題を確実に正解できるようにするため、文法のポイント、単語の結びつきや文脈をチェックし、解答時間の短縮が図れるよう攻略を身に付ける。 【長文に慣れる/リスニング Part3&4/リーディング Part7】 スピード対応能力(速い英語が聞ける、速く読める)を養うため リスニングの後、スクリプトを音読する。 リーディングもリスニング同様、内容を日本語に置き換えるのではなく、頭の中でイメージし英語を英語で理解できるようにする。				
成績評価 方法	評価試験は小テスト（30%）、期末テスト（70%）とする。				
成績評価 基準	A：評価試験（理解度）80%以上、出席率 80%以上、平常点　優 B：評価試験（理解度）60%以上、出席率 70%以上、平常点　良 C：評価試験（理解度）40%以上、出席率 60%以上、平常点　可 D：評価試験（理解度）40%未満、出席率 60%未満、平常点　不可				

学生へのメッセージ

中学、高校の時、英語が苦手でも基礎からやり直せば大丈夫です。もちろん時間はかかりますが、目標に向かって真剣に 取り組んでみましょう！

シラバス（授業計画）

科目名	TOEIC 対策Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	1 年　前期・後期	単位数	前期 ： 3 単位 後期 ： 3 単位	時間数	前期 ： 45 時間 後期 ： 45 時間
担当	岡野恵美子				
	実務経験 ： 有 ・ [無]				
授業概要	航空業界で要求される TOEIC スコアになるべく早く到達することを目標とします。まずスコア獲得に必要な頻出文法を復習し、TOEIC テスト必須の語彙を増やします。そして出題内容に即した演習を数多くこなしながら、各パートの解答のコツを習得していきます。				
到達目標	TOEIC スコア　ｴｱﾎﾟｰﾄｻｰﾋﾞｽｺｰｽ 500 点以上・ｶｰｺﾞｺｰｽ 400 点以上				
検定資格	なし ・ [必修] ・ 任意　　名称: TOEIC				
教科書 教材	TOEIC L&R テスト書き込みドリル「スコア 500 全パート入門編」新形式問題対応　桐原書店 TOEIC　L&R　公式ボキャブラリーブック （IIBC）				
授業計画	【リーディング Part5&6 対策】 テキスト及び公式問題集を中心とした問題演習 頻出単語やフレーズの学習、プリントを使用した基本文法復習 【リーディング Part7 対策】 テキスト及び公式問題集を中心とした長文テーマ別の演習 【リスニング Part1&2 対策】 テキスト及び公式問題集を使用した写真問題、応答問題の演習 【リスニング Part3&4 対策】 テキスト及び公式問題集を使用した会話文、説明文の問題演習				
成績評価 方法	毎週のチェックテストに加え、TOEIC 受験直前には模擬試験を実施し、平常点に加点します。また学期末には評価試験を行い、出席率、TOEIC スコアと共に総合的に判断します。				
成績評価 基準	A：評価試験（理解度）80%以上、出席率 80%以上、平常点　優 B：評価試験（理解度）60%以上、出席率 70%以上、平常点　良 C：評価試験（理解度）40%以上、出席率 60%以上、平常点　可 D：評価試験（理解度）40%未満、出席率 60%未満、平常点　不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	手話講座Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	1 年　前期・後期	単位数	前期 ： 1 単位 後期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 15 時間 後期 ： 15 時間
担当	藤田敦子				
	実務経験 ： 有 ・ 無	江戸川区登録手話通訳者			
授業概要	ユニバーサルサービスとして接客における手話を身に着ける。前期は聴覚障害者概要の講義と6・5級の単語学習を中心におこない、後期は聴覚障がいをお持ちのお客様に対して手話でのコミュニケーションがとれるようロールプレイ等をおこなう。				
到達目標	1年次においては手話検定 5 級レベルを目指す。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:手話技能検定 5 級				
教科書 教材	手話技能検定公式ﾃｷｽﾄ5・6・7級（日本能率協会マネジメントセンター）				
授業計画	【日常生活で必要な基本を学習Ⅰ】 あいさつ・天候・疑問・数字・日にち・時間・家族・色・方角・感情・動作・自然・仕事などを学習する。 【日常生活で必要な基本を学習Ⅱ】 食べ物・動物・スポーツ・趣味・乗り物・形容詞・接客手話などを学習する。 【日常生活で必要な基本を学習Ⅲ】 接客で使う手話や検定対策に向けて過去問題の学習を行う。 【聴覚障害概要の学習】 手話とは・聴覚障害者とは・聴覚障害者数・身体障害者手帳（身体障害者等級）・聴覚障害者のコミュニケーション方法・合理的配慮・手話言語条例・強みと弱み・ろう文化・聴覚障害者の余暇活動など				
成績評価 方法	授業内におこなう実技試験と期末試験、出席率、授業態度を総合的に評価します。				
成績評価 基準	A:評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、平常点優 B:評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C:評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D:評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	中国語Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期 ： 1単位 後期 ： 1単位	時間数	前期 ： 30時間 後期 ： 30時間
担当	張翼飛				
	実務経験 ： 有 ・ 無				
授業概要	この授業ははじめて中国語を学習する学生を対象とする。発音の習得を重視しつつ、簡単な語彙や表現を身につけることを目指す、初歩的な中国語でコミュニケーション。				
到達目標	まず中国語の基本発音からスタートする、ピンインを読んで発音できる、それから日常によく使われる会話を話せるように、繰り返し練習ことによって身につける。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称：中国語検定試験				
教科書 教材	中国語初歩の初歩（高橋書店）				
授業計画	【中国語の概要】 中国語のピンインと四声の練習 名前を中国語で言ってみましょう 出会いと別れの言葉 返事と呼びかけ 【基本文法】 動詞述語文を学習 形容詞述語文を学習 名詞述語文を学習 文の組み立て方 【基本表現】 数字の数え方 日付と曜日の言い方 お金の単位と言い方 【テストと復習】				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験（理解度）80%以上、出席率 80%以上、平常点　優 B：評価試験（理解度）70%以上、出席率 70%以上、平常点　良 C：評価試験（理解度）40%以上、出席率 60%以上、平常点　可 D：評価試験（理解度）40%未満、出席率 60%未満、平常点　不可				

学生へのメッセージ

中国語を習得してから、日常生活楽しいこともひとつ増えますし、航空業界への就職に断然有利です。ぜひ中国語授業を楽しんでください。

シラバス(授業計画)

科目名	韓国語 Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	1 年 前期・後期	単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数	前期 : 30 時間 後期 : 30 時間
担当	渡部 茂				
	実務経験 : 有 ・ 無				
授業概要	対面形式の教科書を中心にして、文字から発話までの 2 年次に繋がる一連の約束事の基礎固めの学習をする。				
到達目標	日常生活上の動作性動詞の活用形 を反復練習することで、四つのバランス 即ち 「聞く・話す・読む・書く」 の場面に即した、簡単な韓国語会話が出来るようになること。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称: ハングル検定 (日本主催)、 韓国語能力試験 (韓国主催)				
教科書 教材	「日本語式から学ぶ韓国語概説 」　渡部 茂 著				
授業計画	01. 簡単な日常会話と旅行会話 一日の行動の基本的な会話、日常生活の多頻度の動詞 (コロケーション) 02. 文字と発音のルール 韓国語とは、文字の枠組み、連音化と有声音化、鼻音化、流音化、濃音化、激音化、口蓋音化、頭音法則 長母音と短母音 03. 数詞と助数詞、序数詞 漢数詞、固有数詞、曜日、時間時計、お金の計算等 04. 指示代名詞と疑問詞 これ・それ・あれ・どれ、 5W-1H (いつ・誰が・何を・どこで・幾ら)等 05. 助詞 一音節 (は・が・を・に・も・で)、二音節 (まで・でも・しか・より・から・すら) 06. 用言の活用形 指定詞 (～です・～ます)、存在詞 (あります・います)、否定表現 (行かない・行けない) 連体形 (現在・過去・未来・回想過去)、連用形 (～てみる、～ておく、～てしまう 等の ～て表現) 使役形・受身形 (れる・られる) 07. 待遇表現 下称形・中称形・上称形、 禁止形・婉曲表現、尊敬の補助語幹 (お～・御～表現) 08. 依存名詞 ～こと・～もの・～はず・～だけ・～のみ 等の適切な表現 09. 韓国漢字語 日本漢字音と韓国漢字音の比較対照(時系列的な音韻の変化) 漢字文化圏の共通音韻 10. 擬態語・擬声語 (オノマトペ) と 接頭辞と接尾辞 キラキラ・ガヤガヤ・キョロキョロ・スイスイ・ズキズキ 等 11. 文化的なもの 親族の名称・朝鮮半島略図・東アジア歴史年表・般若心経 (漢字語学習) 等 ※授業内の各単元演習小テスト実施				
成績評価 方法	出席の状況、並びに積極的な授業参加への意欲・姿勢等				
成績評価 基準	A: 出席率 80%以上、 評価試験 (理解度) 80%以上、 B: 出席率 70%以上、 評価試験 (理解度) 70%以上、 C: 出席率 60%以上、 評価試験 (理解度) 60%以上、 D: 出席率 60%未満、 期末試験 受験不可				

学生へのメッセージ

中高 6 年間で学習してきた英語の授業方法を振り返り、偏差値獲得の為の例文の丸暗記学習ではなく、自分の言葉で組み立てながら、実践的に「使える韓国語」の獲得を目指すものである。この授業を通して外国語の勉強法を再確認し、もう一度英語の勉強にフィードバックして欲しい。その為には継続して授業に参加することが望ましい。

シラバス（授業計画）

科目名	ロジスティクス入門			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	1 年　前期	単位数	前期　:1 単位	時間数	前期　:15 時間
担当	桒原　和希				
	実務経験　：　[有]　・　無	物流関連企業にて実務経験あり。			
授業概要	航空貨物取扱業務に関連する、貨物保管施設・荷役・梱包・管理の知識を学ぶ				
到達目標	・内国貨物、外国貨物を保管する施設（保税蔵置場）の基礎知識を習得 ・航空機搭載のための荷役作業・梱包・包装に関する基礎知識を習得 ・在庫管理方法を学び習得				
検定資格	[なし]　・　必修　・　任意　　名称:				
教科書 教材	講師作成の資料				
授業計画	【物流の基礎】 ・ロジスティクス業務の概要 ・物流システム ・保管と荷役 ・包装と梱包 ・輸送 ・各種使用機材（パレット・ユニットロード・コンテナ等） 【ロジスティクス情報システム】 ・バーコードの種類と特徴 ・WMS システム概要 ＊任意資格受験：ロジスティクス Basic 級（ビジネス・キャリア検定）				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験（理解度）80%以上、出席率 80%以上、平常点　優 B：評価試験（理解度）70%以上、出席率 70%以上、平常点　良 C：評価試験（理解度）40%以上、出席率 60%以上、平常点　普通 D：評価試験（理解度）40%未満、出席率 60%未満、平常点　不良				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	エアカーゴ入門(貨物の仕組み)			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	1 年 前期	単位数	前期 : 2 単位	時間数	前期 : 30 時間
担当	桒原 和希				
	実務経験 : [有] ・ 無	物流関連企業にて実務経験あり。			
授業概要	航空業界、航空機貨物搭降載に関わる流れと各種基礎知識を学ぶ、				
到達目標	・航空業界、航空貨物業界で使用する各種コードを習得する ・航空貨物発展の歴史 ・航空貨物搭載の流れと各種使用機材 ・梱包、包装、各種使用ラベル				
検定資格	[なし] ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	講師作成の資料				
授業計画	【国際航空貨物概論】 〇航空貨物輸送発達の理由、航空貨物輸送の利点 〇航空輸送される貨物の種類、品目、貨物量など 〇貿易における輸送手段(海上輸送と航空輸送に比較など) 【航空貨物(輸送)の種類と流れ】 〇航空会社における貨物の流れ 〇航空輸送における貨物の包装(梱包)、ラベル貼付等 〇航空貨物業界で使用される各種機材 【各種コード】 〇国内外の空港に関する 3 レターコード 〇国内外の航空会社に関する 2 レターコード 〇航空会社で使用する 3 桁のプリフィックスコード				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A:評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点　優 B:評価試験(理解度)70%以上、出席率 70%以上、平常点　良 C:評価試験(理解度)40%以上、出席率 60%以上、平常点　普通 D:評価試験(理解度)40%未満、出席率 60%未満、平常点　不良				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	業界ガイド			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	1 年　前期	単位数	前期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 15 時間
担当	担当講師				
	実務経験 ： 有 ・ 無	エアライン業界にて地上職及び客室乗務員として実務経験あり。			
授業概要	航空業界へのガイダンスとして、基本的な事柄を幅広く理解することが目的の講座です。 「誰が」「何のために」「どこで」「何を」しているのかを具体的に学び、それらの職種や業種の相関関係を理解していきます。				
到達目標	○空港内外の主な職種や業種について学び、航空業界に関する理解を深める ○具体的な業務内容を学び、就職活動への足掛かりとする				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	適宜プリント配布				
授業計画	① 導入 ：【授業の目的と進め方】 ②【航空業界のコロナ前とコロナ後について】 ③【パッセンジャーハンドリング】　グランドスタッフ業務一般 （チェックイン ・ ゲート・アテンド ・ バゲッジクレーム ・ トランジットなど） センディング ・ インフォメーション ・キャビンアテンダント 免税店などの物品販売 ・ セキュリティー　（順序不同） ④【グランドハンドリング】　シップサイドランプ業務 （マーシャリング ・ トーイング／プッシュバック ・ ローディングなど） ⑤【エアカーゴ】　貿易実務（ドキュメンテーション） ハンドリング 通関士				
成績評価 方法	評価試験・出席状況・平常点(授業参加意欲)を総合評価して判断する。				
成績評価 基準	A ： 評価試験（理解度・貢献度）90%以上、 出席率 90%以上、 平常点　秀・優 B ： 評価試験（理解度・貢献度）80%以上、 出席率 80%以上、 平常点　良 C ： 評価試験（理解度・貢献度）70%以上、 出席率 70%以上、 平常点　可 D ： 評価試験（理解度・貢献度）70%未満、 出席率 70%未満、 平常点　不可				

学生へのメッセージ

航空業界の基礎の基礎。 コレを知らずに就職活動は始められません！

シラバス（授業計画）

科目名	カーゴハンドリング入門			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	1 年 前期	単位数	前期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 15 時間
担当	逢坂 理恵				
	実務経験 ： 有 ・ 無	航空貨物取扱企業にて教育担当の実務経験あり。			
授業概要	コロナ禍で物流に対するニーズが高まり、その重要性が再認識されました。航空機で運ばれる貨物には実際にどのようなものがあるのでしょうか。また、どのような流れで世界中に貨物が運ばれているのでしょうか。この講座では、航空貨物に関する仕事について詳しく学んでいきます。コロナ禍における物流の重要性や面白さを感じながら学びましょう。				
到達目標	・航空貨物の流れを理解する。 ・航空貨物に関する仕事の種類や、実際の業務内容を理解する。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	講師作成教材				
授業計画	【航空貨物とは】 コロナ禍における物流の重要性 航空貨物の特徴と種類 航空貨物の流れ 航空貨物に関わる仕事の種類と特徴 【カーゴハンドリングの仕事】 航空機の構造と貨物室 航空運送状（AIR WAY BILL） 輸出業務の具体的な仕事 輸入業務の具体的な仕事 郵便業務 上屋でのハンドリング業務 【全体復習】 まとめ				
成績評価 方法	学期末に行う評価試験、出席状況と授業参加意欲により評価される。 （評価試験は欠席の場合、0 点として取り扱う）				
成績評価 基準	A：評価試験（理解度）80%以上、出席率 80%以上、平常点　優 B：評価試験（理解度）70%以上、出席率 70%以上、平常点　良 C：評価試験（理解度）40%以上、出席率 60%以上、平常点　可 D：評価試験（理解度）40%未満、出席率 60%未満、平常点　不可				

学生へのメッセージ

航空貨物を取り扱う仕事について学びます。貨物の流れやシステム、上屋での作業など、幅広い知識をつけるとともに、 就職後に生かせる内容となっております。後期に学ぶ「ディプロマ対策」とも関連する内容となりますので、一緒にがんばりましょう。よろしくお願いいたします。

シラバス（授業計画）

科目名	グランドハンドリング入門			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	1 年　前期	単位数	前期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 15 時間
担当	企業担当者　松井　哲至				
	実務経験 ： 有 ・ 無	エアライン企業現役社員			
授業概要	グランドハンドリング業務を統括する企業様より、直接授業を行っていただきます。グランドハンドリングについての知識を深め、業界に求められるスキルなどを学び、将来の夢を掴むための一歩とします。				
到達目標	グランドハンドリングの業務内容、専門用語を理解する。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	プロジェクターを使用してパワーポイントのスライドが中心 必要に応じてプリント配布				
授業計画	【㈱エコーパートナーズ】 1．グランドハンドリング全般 会社沿革／業務内容紹介（エコーの役割）／成田空港制限区域の基礎知識／ヒューマンファクターズ 2．手荷物・フライトハンドリング全般 手荷物とは？／国際線出発・到着ソーティング作業／フライトハンドリングとは？／機側作業初級 3．成田空港見学・TT 車乗体験（終日成田空港） 成田空港制限区域案内／PEACH フライトハンドリング作業見学／ANA 国際線ソーティング作業見学／ 本社にて TT 車乗 4．貨物ハンドリング・その他 旅客機と貨物機の違い／貨物取扱の流れ／機内清掃・CREW 送迎／ハンドリング業務全般のテスト ※内容は変更となる可能性がございます。				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験（理解度）80%以上、出席率 80%以上、平常点優 B：評価試験（理解度）70%以上、出席率 80%以上、平常点良 C：評価試験（理解度）60%以上、出席率 60%以上、平常点可 D：評価試験（理解度）60%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

普段は現場の最前線で仕事をしている社員が講師として皆さんに授業をしますので楽しみにしていて下さい。 直接聞いてみたいことがあれば遠慮はいりません。事前に質問事項をまとめておくようお願いします。

シラバス（授業計画）

科目名	ワールドディスティネーションズⅠ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	1 年　前期・後期	単位数	前期 ： 1 単位 後期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 15 時間 後期 ： 15 時間
担当	担当講師　石松				
	実務経験 ： [有] ・ 無	旅行業界にて旅程管理実務経験あり。			
授業概要	みなさんが本校で学ぶ科目の多くは、世界地理の知識を必要とします。 2年間を通しての本科目の目的は、大きく分けて以下の 3 つです。 ① 世界の主だった渡航先や輸出入が行なわれる国々について幅広く学び、基本的な知識を身に着ける ② アマデウスやディプロマ等、他科目の学習の手助けとなる ③ 世界の国や地域の事情について考察できるようになる 1 年次：概論（地図の把握／世界の主要な国・首都・空港所在地の把握／代表的な観光資源・文化および輸入品） 2年次：各論 また、授業内容に関連しそうなニュースがあれば、その週のトピックスとして取り上げます。 なお、授業の目的及び性質上、観光英検などの受検対策と目的とするものではありません。				
到達目標	1 年次：緯度経度とそれに関連する事項について理解し、考察することができる。世界のエリア、主要な国や地域、都市、空港所在地を地図上で把握することができる。各地の特徴を大まかに把握することができる。				
検定資格	[なし] ・ 必修 ・ 任意　　名称：				
教科書 教材	旅に出たくなる地図 世界 （帝国書院） 世界白地図 （JTB 総合研究所） プリント適宜配布				
授業計画	【 学びの目的 】 授業の目的について説明 【 地図の把握 】 投影法の種類と目的 ／ 緯度・経度（気候と時差） ／ 大陸と地域 【 国・地域の基本情報 】 アジア ／ 中東 ／ ヨーロッパ ／ アフリカ ／ 北米 ／中南米 ／ オセアニア 代表的な国や地域の基本情報（首都、時差、通貨、言語、宗教等）、主要空港がある都市、その地の特徴（代表的な観光資源、事情、輸入品等）。小テストを実施する。 【期末試験と解説】 期末試験 ／ 解説　各期 2 時間ずつ計 4 時間 【研修旅行に向けて】 渡航先について学ぶ（前期） 履修内容・順番は変更される場合があります。				
成績評価 方法	出席率、授業態度、意欲、評価試験				
成績評価 基準	A：評価試験（理解度）80%以上、かつ出席率 80%以上、かつ平常点　優 B：評価試験（理解度）60%以上、または出席率 70%以上、または平常点　良 C：評価試験（理解度）40%以上、または出席率 60%以上、または平常点　可 D：評価試験（理解度）40%未満　または　出席率 60%未満　または　平常点　不可				

学生へのメッセージ

“ディスティネーションズ Destinations”とは、「旅行などの目的地」という意味です。 航空会社や空港、貨物等、国際的なものに関わって活躍しようとする皆さんにとって、世界の地勢や国々に関する基本的な情報は必須です。 机の上で、一緒に世界の旅に出ながら、知識を深めましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	アマデウスⅠ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	1 年 前期・後期	単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間 後期 : 15 時間
担当	湊 さやか/桒原 和希				
	実務経験 : 有 ・ 無	湊:エアライン業界にて客室乗務員として 7 年間の実務経験あり。 桒原:物流関連企業にて 17 年の実務経験あり。			
授業概要	アマデウスは GDS(Global Distribution System)として、全世界の航空会社や旅行会社にとって航空券やホテルなどを手配するための必要不可欠なシステムとなっています。アマデウスの国際線予約基本操作を習得し、アマデウスシステム検定試験 Specialist 資格取得を目指します。				
到達目標	①アマデウスシステムでの予約記録が作成できること。 ②アマデウスシステム検定試験 Specialist 資格の取得。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称: アマデウスシステム検定試験				
教科書 教材	Amadeus 予約ユーザーガイド (最新版) アマデウス予約クイックガイド				
授業計画	【各種コード検索/空席照会/空席照会からの予約】 都市・空港・航空会社コードの検索 空席照会オプション、ショートカット、2 区間の空席照会 予約方法、ステータス(予約)コードを理解する 乗継ぎ便・取消待の予約方法、ｵｰﾌﾟﾝｾｸﾞﾒﾝﾄ、ARNK を理解する 【予約記録 PNR 作成】 基本 PNR の入力必須項目と抽出を理解する PNR の作成(複数人の名前入力)が出来るようにする PNR の作成(INF・CHD の名前入力)が出来るようにする 【SSR 入力/座席のリクエスト/旅程の取消・変更】 SSR の入力、座席リクエストなどが出来るようにする PNR を取り出し、取消・変更などができるようにする 【過去問練習】 過去問練習・解説				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A:評価試験(理解度)80%以上、出席率 90%以上、平常点　優 B:評価試験(理解度)70%以上、出席率 80%以上、平常点　良 C:評価試験(理解度)40%以上、出席率 60%以上、平常点　可 D:評価試験(理解度)40%未満、出席率 60%未満、平常点　不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	エクササイズⅠ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	1 年　前期・後期	単位数	前期 ： 2 単位 後期 ： 2 単位	時間数	前期 ： 30 時間 後期 ： 30 時間
担当	北原　大輔				
	実務経験 ： 有 ・ 無	スポーツインストラクターとして実務経験あり。			
授業概要	健康維持増進のために日頃から身体を動かしておくことは必要不可欠なことであり、また、身体運動量が比較的高い職業においては、高い体力レベルを保持しておくことが望ましいと言えます。 基本的な運動を通じて精神力と敏捷性、持久性、平衡性など、はつらつとした身体をつくります。また、球技スポーツの体験を通して、健康および体力の向上を図るとともに、運動習慣を体得し、生涯に渡り運動・スポーツを実践できるようになることを目指します。加えて、コミュニケーション能力とリスペクトの精神を養うことで、社会人として必要とされる他者と協働する力を鍛えます。				
到達目標	健康づくりのための身体活動基準以上の運動・スポーツの実践 体力向上のための定期的なトレーニングの実践（自己目標の設定）				
検定資格	なし				
教科書教材	必要に応じてプリント配布				
授業計画	【健康と体力/筋トレⅠ/「投げる」球技スポーツ/ウォーキング、ランニング】 「健康」，体力」，「健康と体力の関係」について学ぶ 筋トレ、器具の使い方や効果について バスケットボールなど（競技特性・ルールの理解と実践） ウォーキング、ランニングの正しいやり方と効用 【ストレッチング/持久力トレーニング】 ストレッチングの意義と実践 持久力トレーニングの意義と実践（持続性トレーニング） 【筋トレⅡ/球技スポーツ/運動と安全/体力の測定と評価】 前期より負荷を挙げて筋力アップを図る 傷害の理解と予防 形態計測，筋力測定，運動能力テストの実施と評価				
成績評価方法	※平常点は、授業への参加度や授業態度などを加味して 20 点満点とし、 上記評価点数に組み込まれる。				
成績評価基準	A：授業内期末試験　70 点以上、出席率 90%以上、平常点 15 点以上　優 B：授業内期末試験　50 点以上、出席率 60%以上、平常点 10 点以上　良 C：授業内期末試験　30 点以上、出席率 60%以上、平常点 5 点以上　可 D：授業内期末試験　30 点未満、出席率 60%未満、平常点 5 点未満　不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	Airline English Ⅰ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	1 年　後期	単位数	後期 ： 1 単位	時間数	後期 ： 15 時間
担当	語学担当講師				
	実務経験 ： 有 ・ 無				
授業概要	前期の Let’s Speak English で習得したコミュニケーションスキルを、「仕事で使える英語」に繋げていきます。航空業界で働く際に遭遇する場面での「使えるフレーズ」を覚えることで、英語での対応能力を養います。シンプルなキーセンテンスを応用して使えるように、会話、リスニング、アクティビティを通して反復練習をしていきます。				
到達目標	テキスト Airline English Ⅰ の Conversation を暗記し、グランドスタッフのパートを、テキストを見ないでスムーズに会話することが出来る。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	オリジナルテキスト				
授業計画	【チェックイン業務で使う英語①】 ・航空券の提示 ・パスポートの提示 ・パスポートの有効期限 【チェックイン業務で使う英語②】 ・受託手荷物 ・手荷物の重量制限 ・シートアサイン 【チェックイン業務で使う英語③】 ・搭乗券を渡す ・搭乗時刻の案内 ・フライトの遅延 ・フライトのキャンセル 【復習/会話テスト】 ・復習 ・1 人ずつ会話テストを実施				
成績評価 方法	評価試験は会話テストを実施し、出席率・授業態度と総合して評価します。				
成績評価 基準	A：評価試験（理解度）80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B：評価試験（理解度）60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C：評価試験（理解度）50%以上、出席率 60%以上、平常点可 D：評価試験（理解度）49%以下、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	エアライン受験対策Ⅰ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	1年 後期	単位数	後期 ： 1単位	時間数	後期 ： 15時間
担当	担当講師				
	実務経験 ： 有 ・ 無	エアライン業界にて地上職及び客室乗務員として実務経験あり。			
授業概要	エアライン業界独特の面接試験に重点を置いた受験対策講座です。 【講義】自己分析と企業研究の重要性及びその方法を学習した後、各自でその作業を進める。順次自己PRと志望動機を作成していきます。（企業の面接時期に合わせて逐次個別に対応していきます）。 面接試験の目的や流れ・具体的なチェックポイントや基本的な言葉遣いを学習します。 【演習】模擬面接や質疑応答の反復練習とフィードバックを繰り返し、表情や視線・立ち居振る舞い等の実践的なスキルを体得していきます。				
到達目標	○就職活動の軸である「自己分析と企業研究」の重要性と必要性を理解し、各自が適時進められるようにする。 ○人から見られる事や緊張する事に慣れ、面接試験本番においてより適切な第一印象を残せるようにする。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	適宜プリント配布				
授業計画	① 授業の目的と進め方の説明　就職活動とは ② 自己分析と企業研究について　重要性/必要性と、進め方 ③ 面接試験の目的と流れ　入室 ～ 退室まで・具体的な質問内容とその意図 ④ 第一印象とチェックポイント　みだしなみ・表情・視線・立ち居振る舞い（立ち方・歩き方・座り方・お辞儀等）メラビアンの法則を参照 ⑤ 言葉遣いと話し方　敬語の使い方 ・ 声の大きさ／強さ／トーン ・ 話すスピードなど ⑥ オンライン面接について　注意点（対面式との違い） ⑦ 模擬面接　反復練習 （チェックポイントの再確認 ・ フィードバック） 【適宜個別対応】　自己分析・企業研究・自己PR・志望動機など				
成績評価 方法	評価試験（講義内容の理解度/自己PR・志望動機の進捗状況）・出席状況・授業参加意欲（平常点）で総合評価				
成績評価 基準	A ： 評価試験（理解度・進捗状況）90%以上、 出席率90%以上、 平常点 秀・優 B ： 評価試験（理解度・進捗状況）80%以上、 出席率80%以上、 平常点 良 C ： 評価試験（理解度・進捗状況）70%以上、 出席率70%以上、 平常点 可 D ： 評価試験（理解度・進捗状況）70%未満、 出席率70%未満、 平常点 不可				

学生へのメッセージ

最初は緊張して当たり前です。 大切なのは実際に身体を動かしてやってみる事！ 繰り返し何度も何度も練習していく内に、いつの間にか身体が覚えていきます。 さぁ、背筋を伸ばして笑ってみましょう。

シラバス（授業計画）

科目名	パソコンスキル Ⅰ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	1 年　後期	単位数	後期 ： 1 単位	時間数	後期 ： 15 時間
担当	宮﨑　愛子				
	実務経験 ： 有 ・ 無	パソコン講師として実務経験あり。			
授業概要	現代社会において、仕事上 PC 操作は必須です。1 年時の学習を踏まえて実践力を習得する。ワードではビジネス文書作成、エクセルでは基本関数およびグラフによるデータの視覚化とデータ分析力を修得する。また、パワーポイント操作ではプレゼンテーション資料の作成を修得する。				
到達目標	ワード・エクセルを含めたPC操作の基本を理解し、ビジネス文章の作成や、データからグラフ作成・データベース操作、パワーポイントを利用したプレゼンテーション資料が作成できるようにする。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称: 日本語ワープロ検定・マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)検定				
教科書 教材	なし（適宜プリントを使用します）				
授業計画	【PC基本操作の確認】 前期に学習したキーボードを利用しての入力練習(英数字・かな・漢字変換・文字の修正)、ワープロソフトを使い文章入力を復習する。 ホームポジションを意識した入力を実施する。 【ワード基本作業】 文章入力練習を行う。 ワードアート・図形描画を利用した表現力のある文書作成を行う。 ビジネス文書の基礎や仕組みを学び、手書き問題からビジネス文書を作成する。（表作成含む） 【エクセル基本作業】 データ入力の基本を学ぶ。 データ入力の基本を理解し、関数を利用した表計算機能やデータベース操作を学習する。 データを利用してグラフ作成を行い、視覚的分析力の方法を学ぶ。				
成績評価 方法	※平常点は、授業への参加度や授業態度などを加味して 20 点満点とし、上記評価点数に組み込まれる。 ※ワード、エクセル共に、文書作成を課題として提出する。				
成績評価 基準	A：評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、課題提出、平常点 15 点以上優 B：評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、課題提出、平常点 10 点以上良 C：評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、課題提出、平常点 5 点以上可 D：評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、課題未提出、平常点 5 点未満不可				

学生へのメッセージ

ワープロ、表計算、プレゼンソフトでは入力速度も必要となるので、日頃から入力練習をしておくことが望ましい。

シラバス（授業計画）

科目名	通関ビジネス検定対策Ⅰ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	1年 後期	単位数	後期 ： 1単位	時間数	後期 ： 15時間
担当	桒原 和希				
	実務経験 ： [有] ・ 無	物流関連企業にて実務経験あり。			
授業概要	国際航空貨物取り扱いに際し、ロジスティクス業務・輸送・通関に至るまでの流れについて学ぶ。				
到達目標	・流通と物流 ・航空・海上輸送 ・ロジスティクス ・通関関連法並びに通関関連実務				
検定資格	[なし] ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	講師作成の資料				
授業計画	【流通と物流】 ・流通、物流の意義 【航空・海上輸送】 ・航空、海上輸送の概略 ・使用機材 ・航空運送状および船荷証券（AWB・B/L） 【ロジスティクス】 ・3PLと4PL ・サプライチェーンおよびマネジメント				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験（理解度）80%以上、出席率80%以上、平常点　優 B：評価試験（理解度）70%以上、出席率70%以上、平常点　良 C：評価試験（理解度）40%以上、出席率60%以上、平常点　普通 D：評価試験（理解度）40%未満、出席率60%未満、平常点　不良				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	エアカーゴ実務Ⅰ （税関／海上）			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	1 年 後期	単位数	後期 ： 2 単位	時間数	後期 ： 30 時間
担当	桒原 和希				
	実務経験 ： [有] ・ 無	物流関連企業にて実務経験あり。			
授業概要	前期では「エアカーゴ入門－貨物のしくみ」と「業界ガイド」の2つの授業によりエアカーゴ＝国際航空貨物に関する理解が得られたと思います。後期は、更に視点を変えて、エアカーゴ(航空空貨物)以外に関わる業務で、国際物流の主流である「海上貨物輸送」及び輸出入通関を始めとする「税関の仕事と役割」、及び「物流」とは何か？の 3 点についての知識を学びます。				
到達目標	海上貨物輸送（特にｺﾝﾃﾅ輸送）、税関の仕事と役割り、物流に関する基礎知識を修得する。				
検定資格	[なし] ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	講師作成の資料				
授業計画	【海上貨物輸送】 〇海上貨物輸送に種類、ｺﾝﾃﾅ船と一般貨物船(在来船) 〇海上ｺﾝﾃﾅの種類、海上ｺﾝﾃﾅ貨物輸送の流れと仕組み 〇海上貨物輸送と航空貨物輸送の比較・違い (輸送期間、運賃、運送状) 〇フォワーダー、NVOCC他海上貨物取扱業者について 【税関】 〇税関の仕事と役割り 〇輸出入通関の概要（輸出と輸入、通関手続きの流れ等） 〇税関の情報技術（通関システム）の概要 【物流】 〇物流の概要(物流とは、流通・物流・運輸について) 〇物流の種類（製造から販売までのモノの流れとその仕組み等） 〇新しい物流の概要(ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ等)				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験（理解度）80%以上、出席率 80%以上、平常点　優 B：評価試験（理解度）70%以上、出席率 70%以上、平常点　良 C：評価試験（理解度）40%以上、出席率 60%以上、平常点　普通 D：評価試験（理解度）40%未満、出席率 60%未満、平常点　不良				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	ディプロマ対策ＩＡ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	1 年　後期	単位数	後期 ： 1 単位	時間数	後期 ： 15 時間
担当	桒原　和希				
	実務経験 ： 有 ・ 無	物流関連企業にて実務経験あり。			
授業概要	IATA ディプロマ ＝ 国際航空貨物輸送に関する知識と技能を認定する資格制度。 国際航空貨物取扱いに必要な基礎知識を学ぶ ※テキスト及び過去問題集等を活用し、資格取得に必要な知識を学ぶ				
到達目標	国際航空貨物取扱士（IATA ディプロマ　貨物基礎コース）の資格取得				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称：国際貨物取扱士（ディプロマ基礎コース）				
教科書 教材	①The Air Cargo Tariff and Rule TACT Training Edition4 （テキストブック） ②Cargo Introductory Course textbook Edition4（テキストブック） ③講師作成の教材講師作成の資料 ④Forms（Microsoft）を使用した練習問題				
授業計画	【ディプロマの概要】 〇受験の概要 〇テキスト他資料の概要 〇Web 試験実施要項 【出題範囲（出題項目）の知識習得】 〇IATA　Area　〇世界地理　〇航空貨物業界の組織・団体 〇業界で使用される各種コード 〇時刻表（OAG）の見方と飛行時間（時差） 〇航空機のカテゴリー、機種コード（貨物専用機と旅客機等）　〇各国（施設・税関情報など）及び航空会社情報 〇危険品輸送、 〇貨物受託（貨物毎の受託条件と搭載順位等） 〇貨物代理店と混載業務　〇業界の情報技術（IT）について 【ディプロマ受験のための演習】 〇過去問題集の演習 〇業界団体主催の講習会問題集の解説と演習 〇受験ポイントの解説等				
成績評価 方法	評価試験については、期末に試験を実施。 その他の項目については、下記成績評価基準に順じ評価を行います）				
成績評価 基準	A：評価試験（理解度）80%以上、出席率 80%以上、平常点　優 B：評価試験（理解度）70%以上、出席率 70%以上、平常点　良 C：評価試験（理解度）40%以上、出席率 60%以上、平常点　普通 D：評価試験（理解度）40%未満、出席率 60%未満、平常点　不良				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	ディプロマ対策Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	1 年　後期	単位数	後期 ： 2 単位	時間数	後期 ： 30 時間
担当	逢坂　理恵				
	実務経験 ： 有 ・ 無	航空貨物取扱企業にて教育担当の実務経験あり。			
授業概要	「ディプロマ(Diploma)」とは IATA/FIATA が開催する各国共通の資格で、航空貨物輸送業界を志望する人等がこの資格取得を目指します。この授業ではディプロマ(基礎コース)の内、航空貨物輸送運賃に関する内容を学びます。				
到達目標	・ディプロマ資格の取得 ・航空貨物輸送に関する様々なルールを学ぶ				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:国際航空貨物取扱士（ディプロマ基礎コース）				
教科書 教材	・講師作成教材				
授業計画	【航空貨物輸送とは/運賃と世界各国の通貨】 航空貨物輸送の概要 TACT RULE と TACT RULE 航空貨物運賃と航空貨物運送状 重量・寸法の端数処理と容積重量 【運賃の適用規則と賃率】 通貨の端数処理 賃率(レート)の種類と割当て方、優先順位 ・最低料金 ・一般貨物賃率 ・特定品目賃率 ・品目分類賃率 【その他手数料】 従価料金 書類作成手数料、立替払い手数料等 【全体復習(まとめ)】 問題演習の実施、および解説				
成績評価 方法	授業毎に理解度テストを行い、学期末には評価試験を行う。全てのテストや試験を踏まえ、総合評価で判断する。 また出席状況、授業参加意欲も評価されるため、欠席や授業不参加による未実施は 0 点として取り扱う。				
成績評価 基準	A:評価試験（理解度）80%以上、出席率 80%以上、平常点　優 B:評価試験（理解度）70%以上、出席率 70%以上、平常点　良 C:評価試験（理解度）40%以上、出席率 60%以上、平常点　可 D:評価試験（理解度）40%未満、出席率 60%未満、平常点　不可				

学生へのメッセージ

航空貨物に関する仕事で生かせる学習内容です。コロナ禍で物流の需要が高まっていますが、航空機で運ばれる貨物の運賃形態について学ぶことで、ディプロマ資格の取得や実務で生かせる力をつけていきます。 分からない点は何でも質問してください。確実な資格取得を目指して一緒に頑張りましょう！

シラバス（授業計画）

科目名	グランドハンドリング実務			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	1 年　後期	単位数	後期 ： 1 単位	時間数	後期 ： 15 時間
担当	企業担当者　松井　哲至				
	実務経験 ： 有 ・ 無	エアライン企業現役社員が担当。			
授業概要	グランドハンドリング業務を統括する企業様より、直接授業を行っていただきます。グランドハンドリングについての知識を深め、業界に求められるスキルなどを学び、将来の夢を掴むための一歩とします。				
到達目標	グランドハンドリングの業務内容、専門用語を理解する。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	プロジェクターを使用してパワーポイントのスライドが中心 必要に応じてプリント配布				
授業計画	【㈱エコーパートナーズ】 1．貨物ハンドリング教育 I 国際貨物の保税／輸出輸入の流れ／貨物上屋の特性 2．CAB 教育 成田国際空港制限区域運転資格（CAB）とは／運転基礎教育／過去問によるテスト 3．BR 教育（成田空港での弊社新人教育）体験 弊社が行うグランドハンドリング基礎教育を2日に分けて行ってもらいます。 ※内容は変更となる可能性がございます。				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験（理解度）80%以上、出席率 80%以上、平常点優 B：評価試験（理解度）70%以上、出席率 80%以上、平常点良 C：評価試験（理解度）60%以上、出席率 60%以上、平常点可 D：評価試験（理解度）60%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

普段は現場の最前線で仕事をしている社員が講師として皆さんに授業をしますので楽しみにしていて下さい。 直接聞いてみたいことがあれば遠慮はいりません。事前に質問事項をまとめておくようお願いします。

シラバス（授業計画）

科目名	Airport Study			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	1 年　後期	単位数	後期 ： 2 単位	時間数	後期 ： 30 時間
担当	各企業ご担当者様				
	実務経験 ： 有 ・ 無	エアライン企業現役社員が担当。			
授業概要	成田国際空港と羽田空港を実際に訪れ、航空関連企業様を見学させていただき、業務内容や現場を知る。成田国際空港と羽田空港でご活躍されている企業様より直接講義、説明、施設見学をしていただくことで、航空業界の現状を直に学ぶ。				
到達目標	航空業界の現状を直に学び、就職活動への意識向上を図る。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	【TOKYO GLOBAL GATEWAY】 英語「を」活用する「アトラクション・エリア」と英語「で」学ぶ「アクティブイマージョン・エリア」のプログラム体験 【成田国際空港企業訪問①】 1 社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） 1 社目：職場視察 2 社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） 2 社目：職場視察 【成田国際空港企業訪問②】 1 社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） 1 社目：職場視察 2 社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） 2 社目：職場視察 【羽田空港企業訪問①】 1 社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） 1 社目：職場視察 2 社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） 2 社目：職場視察 【羽田空港企業訪問②】 1 社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） 1 社目：職場視察 2 社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） 2 社目：職場視察				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験（理解度）80%以上、出席率 100%以上、平常点優 B：評価試験（理解度）70%以上、出席率 80%以上、平常点良 C：評価試験（理解度）60%以上、出席率 60%以上、平常点可 D：評価試験（理解度）60%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	海外語学研修			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	1 年 後期	単位数	後期 : 2 単位	時間数	後期 : 30 時間
担当	語学学校担当講師				
	実務経験 : 有 ・ [無]				
授業概要	①空港でのチェックイン、出入国の流れ、国際線における客室乗務員の業務など、座学で習得した知識を確認しながら実際に体験をする。 ②6 月に受験する第 1 回目の TOEIC から、9 月受験の第 2 回目に向けてスコアアップを目指し、TOEIC 対策授業を受講する。 ③海外生活を体験しながら英語コミュニケーションスキルを磨き、異文化を理解する。 ④寮(ホテル)での共同生活を通してクラスの団結を深める。				
到達目標	①TOEIC を 100 点以上スコアアップさせる。 ②完璧な英語を話せなくても、積極的にコミュニケーションをとることが出来る。				
検定資格	[なし] ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	現地語学学校指定教材				
授業計画	【1 日目】 Writing・Speaking 実践アクティビティ(校外) TOEIC 対策 【2 日目】 Reading・Speaking 実践アクティビティ(校外) TOEIC 対策 【3 日目】 Grammar・Speaking 実践アクティビティ(校外) TOEIC 対策 【4 日目】 Reading・Speaking 修了スピーチ準備 TOEIC 対策 【5 日目】 TOEIC 模試 卒業スピーチ				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A:評価試験(理解度)80%以上、出席率 100%以上、平常点優 B:評価試験(理解度)70%以上、出席率 95%以上、平常点良 C:評価試験(理解度)60%以上、出席率 90%以上、平常点可 D:評価試験(理解度)60%未満、出席率 90%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ